

今月の ひとこと

ニューヨーク市場が大暴落していれば日本のマーケットも全面安する可能性が高いでしょう。ニューヨーク市場に
きがなくても、ある銘柄固有の悪材料があればその銘柄は値下がります。しかし、同業種の企業はそれ
がりすることはないでしょう。

からわかるのはある銘柄の株価変動にはその銘柄に固有の要因によるものと、マーケット全体の要因によるもの
うらということです。

の銘柄を持ってしまえば銘柄固有の要因は消えてなくなるというのがインデックス運用の考え方です。

の銘柄投資を行う場合、目を付けておいた銘柄がその銘柄とは直接関係のないマーケット全体の要因で値下がり
が非常に良い買い時になることが多いのです。

+++++
K上でクラブ・インベストライフの仲間が活発な議論をしています。FACEBOOKに登録している方、ぜひ、ご
さい (2017年9月14日現在で参加者数は3516名です)

I-OWAマンスリー・セミナー講演より アナリストとしての職業 倫理の在り方 (&座談会)

講演： 原田 武嗣氏 CFA レポーター： 赤堀 薫里



企業の役員会等の意思決定だけに関わらず、組織の現場で意思決定をしなければならぬ局面があります。更に、顧客と投資の相談や、金融機関の担当者
と個人の投資家として話しをする局面で常に「これは本当だろうか。本音はどうか。常に正直なのか」と自問自答をする。それはまさに倫理で
す。

[読んでみる](#)

クラブ・インベストライフとは?

人生を通じての長期投資は孤独な長旅
です。この長旅に耐え、大きな喜びを
得るには、資産運用を行うための基礎
となる知識と孤独な旅を支えあう仲間
が必要です。「将来の自分はいまの自
分を支える」ほかない時代、クラブ・
インベストライフの活動は、豊かで幸
せな人生のための投資を目指していま
す。

毎月、ネット上で会報誌を公開するほ
か、FACEBOOKやTwitter上で議論の
場を提供し、各地でのセミナーを開催
しています。

まったく投資の経験のない方も多数、
参加しておられます。大手金融機関か
ら完全に独立しているので、特定の商
品をお勧めすることも販売することも
一切ありません。

<FACEBOOK、TWITTERへの 投稿の際のお願い>

1. 個別商品の販売・推奨、あるいは
それに類する投稿はご遠慮ください
2. 発言はあくまで個人としてのものと
してください
3. 企業広告はご遠慮ください

I-Oウェルス・アドバイザーズ のメール・マガジン

メルマガへのご登録は下記のメールア
ドレス宛に、空メールを送信下さい。
購読は無料です。

mag@i-owa.com

毎月15日配信 無料

Investor Protection Trust訪問記および 動画「When I'm 65 (私が65歳になったとき)」紹介~①

岡本 和久



今年5月に訪問した米国ワシントンDCのインバスター・プロテクション・ト
ラストで学んだことを紹介します。また、その際、いただいたDVD、
「When I'm 65」の内容を私が意識したものを掲載します。特に「将来のため
に今、行動をとらないと大変なことになる」という点を強調しているのが
非常に参考になります。今月と来月の二回にわたる連載です。

[読んでみる](#)

Facebook

Facebook上のグループ、
クラブインベストライフ
[http://www.facebook.com/
groups/investlife/](http://www.facebook.com/groups/investlife/)

Facebookへの登録が必要で
す。リクエストボタンを押して
入会申し込みをしてください。

[Facebookへはこちらをクリック](#)

極限の貧乏から今日まで 第二話「再起」編

土井 広文氏

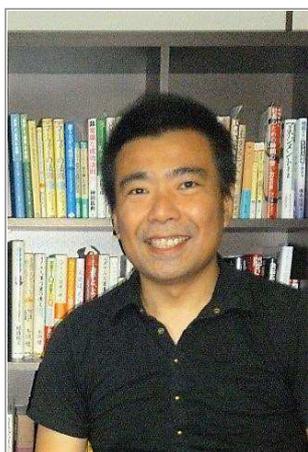
土井さんの机上の空論ではない現実のどん底脱出のストーリー、第一回、
「谷底編」に続き今回は「再起編」です。第一回分もバックナンバーでお読
みになれます。いかにどん底から脱出したか、ヒントいっぱいのお話です。

[読んでみる](#)

Twitter上のグループ
クラブインベストライフ
http://twitter.com/c_investlife

Twitterへの登録が必要です

[@c_investlifeさんをフォロー](#)



- [2017年08月15日発行 Vol.176](#)
- [2017年07月10日発行 Vol.175](#)
- [2017年06月09日発行 Vol.174](#)
- [2017年05月15日発行 Vol.173](#)
- [2017年04月17日発行 Vol.172](#)
- [2017年03月15日発行 Vol.171](#)
- [2017年02月15日発行 Vol.170](#)

ウェブ化以前のバックナンバー

2012年12月までに発行されたインベストラ이프をご購入いただけます。

[購入・詳細](#)

知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸氏

★左利きをなぜ『サウスポー』というのか ★バッテラ（の語源） ★へちま&糸瓜忌 ★衣食足りて礼節を知る ★酒は百薬の長 ★直木賞（直木三十五）

[読んでみる](#)

中国がわかるシリーズ42 クビライの即位

ライフネット生命保険株式会社 創業者 出口治明氏

モンケが急死した時点で、バトウは既に他界しており、キングメーカーは不在でした。モンゴルの伝統的な考えでは、モンゴル本土の留守を預かる、末弟、アrik・ブケが最有力候補でした。しかし、モンケ以上の資質に恵まれたクビライは、クーデタを決意したのです。

[読んでみる](#)

参考データ・コーナー

基本ポートフォリオのパフォーマンス

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン/投信まとなび

成長型ポートフォリオの四資産型で8月の月間パフォーマンスは0.28%（過去12か月では13.43%）、二資産型で0.41%（同15.04%）でした。

[読んでみる](#)

投信データ・ウォッチ

データ提供：イボットソン・アソシエイツ・ジャパン/投信まとなび

今月は直販投信のパフォーマンスを比較していただきました。

[読んでみる](#)

I-OWAたより

岡本和久のI-OWA日記

★ 株価指数研究所を陣中見舞い ★ 毎年恒例の「大人と子供のためのハッピー・マネー®教室開催 ★ 腰痛はかなわないですね・・・ ★ 三人でランチ ★ 「暇なときは何をしているの」トム・ハンクスの答えは？ ★ 熊野神社の大祭禮

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

セミナー案内

9月17日（日）12：30～16：30 東京 I-OWAマンスリー・セミナー（144回）会場：東京都渋谷区広尾1-8-6-7F（当社オフィス） <http://www.i-owa.com/company/access.html> 12：30～13：30 「CFA協会年次総会報告 ～シラー・シーゲル・デ

イベント～」（岡本 和久）、13:40～14:40:「元気はつらつ!インド経済」(TATAアセットマネジメント アドバイザー 勝池 和夫氏) 14:45～15:30:フリー・ディスカッション、15:30～16:30:懇談会、スポット受講料:教室での受講は10000円+税 予約必須、動画での受講は5000円+税

+++++
9月29日(金)12:45～16:00 Happy Life & Happy Money～お金と仕事と瞑想と・・・“しあわせ持ち”になれる生き方～
会場:TM愛知知多センター出張所(東海市高橋須賀町坂下17-1) 講演:岡本 和久、ナビゲーター:竹内真朱美(TM(超越瞑想)教師 愛知知多センター所長) 参加費(Cafe付):9月15日までの早割3800円(TM 300円引)/9月16日以降+200円 申込先:TM愛知知多センター(竹内) 携帯:09060837429 アドレス:m.takeuchi@maharishi.or.jp

+++++
9月30日(土) 12:30～17:00 日経Wアカデミー お金の学校 投資経験者編 「長期に成長する企業の見分け方」(岡本和久)、(日本経済新聞を活用した情報収集と個別銘柄の見つけ方(和島 秀樹氏))、「ここに注目!これからの株式相場」(鈴木 亮氏) 会場:SPACE NIO(東京都千代田区大手町1-3-7日本経済新聞社東京本社ビル2階) 参加費:15000円。お申込みはインターネットで(<http://www.nikkei4649.com/seminar/>) 申込み締切:9/22

+++++
10月15日(日)12:30～16:30 東京 I-OWAマンスリー・セミナー(145回) 会場:東京都渋谷区広尾1-8-6-7F(当社オフィス) <http://www.i-owa.com/company/access.html> 12:30～13:30 「CFA協会年次総会報告 ～ポーグルが語る金融と金融市場のこれから～」(岡本 和久)、13:40～14:40:「人生にお金はいくら必要か(仮)」(経済評論家、山崎 元氏、ファイナンシャル・プランナー、岩城 みずほ氏)、14:45～15:30:フリー・ディスカッション、15:30～16:30:懇談会、スポット受講料:教室での受講は10000円+税 予約必須、動画での受講は5000円+税

+++++
11月19日(日)12:30～16:30 東京 I-OWAマンスリー・セミナー(146回) 会場:東京都渋谷区広尾1-8-6-7F(当社オフィス) <http://www.i-owa.com/company/access.html> 12:30～13:30 「長期に成長する企業の見分け方」(岡本 和久)、13:40～14:40:「世界のビジネスマンはなぜ、瞑想するのか(仮)」(ガンガー総合研究所 代表取締役 藤井 義彦氏)、14:45～15:30:フリー・ディスカッション、15:30～16:30:懇談会、スポット受講料:教室での受講は10000円+税 予約必須、動画での受講は5000円+税

[詳細はこちらをご覧ください。](#)

Page Top



I-OWA マンスリー・セミナー講演より アナリストとしての職業倫理の在り方

講演：原田 武嗣氏 CFA

レポーター：赤堀 薫里

原田 武嗣(はらだ たけつぐ)氏 [CFA]

日本 CFA 協会執行理事、アドボカシー委員会チェアとして倫理・職業基準の日本の投資専門家への普及・促進、コーポレートガバナンス及び資本市場健全性に関わる問題に取り組んでいる。野村アセットマネジメント株式会社でコンプライアンスオフィサー、リスク管理委員会委員、アナリスト、ファンドマネジャーや商品開発及びロンドンオフィス等のヘッドを含む広範な職務に 30 年以上にわたり従事した。また 2002-2006 年には、野村ブラックロック・アセット・マネジメント株式会社で監査役を勤めた。ノースウエスタン大学経営大学院 経営学修士。



企業の役員会等の意思決定だけに関わらず、組織の現場で意思決定をしなければならない局面があります。更に、顧客と投資の相談や、金融機関の担当者と個人の投資家として話しをする局面で常に「これは本当だろうか。本音はどうか。常に正直なのか」と自問自答をする。それはまさに倫理です。

お金は、支払う人と受け取る人の感謝のしるしだということが基本であり、その気持ちを持っていれば、あとはその気持ちに正直であるかどうかがとても重要なこととなります。証券アナリストないし投資専門家としてのアナリストに必要な資質は 2 つあります。

- ①仕事を対象とする事柄について高度な専門知識と能力を持ち、その専門性を常にアップデートして磨いていく。
- ②高い職業倫理を保持し実践していくこと。

基本的にはこの 2 つが車の両輪になり重要です。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

常に金融市場や経済の動き、特にマーケットが暴落した時に、典型的に発生する不祥事と、それに伴って規制が強化され、結果として高い倫理規範が求められるようになったという流れは、世界中どこでも同じでしょう。実体として、この証券アナリストの仕事がどう変化してきたのか、1990年代のアメリカを見てみます。

アメリカの1990年以降は、1992年にウォール・ストリート・ジャーナルで、以前からあった投資銀行部門と証券ブローカー間でのチャイニーズウォール(情報の隔壁)が不十分である点が看過できない重要な問題だという記事が出ました。それ以降、80年代に始まったレーガン政権の規制緩和の流れの中で、景気も長期的にいい状態が続き、90年代末にドットコムバブルがありました。当時、アナリストがインフォシークとエキサイトの強烈な買い推奨をしましたが、実際は収益の出ない実体のない会社だった為、2001年～2002年にかけてそれらが暴落しました。ドットコムバブルやエンロン事件、ワールドコム的事件も2001～2003年の間に発生。企業の粉飾決算、いわゆる利益相反が大きな問題となりました。

70年代の手数料の自由化をきっかけに収益機会が少なくなり、グローバルな競争が厳しくなってきた中で収益優先主義が進み、アナリストが投資銀行部門とタイアップしていきました。IT革命の時は、IPOで海のモノとも山のモノともわからない企業も含めてどんどん資金調達が行われました。

当時、企業側は、内部情報を特定のブローカーや投資銀行に流して買い上げてもらうという行為を、日常茶飯事的に行っていました。IPOが行われた企業の株価収益率は400倍500倍になる状況となったのです。



SEC(証券取引委員会)が、選択的ディスクロージャーの禁止をし、投資銀行部門とアナリストの業務の相互間や、調査対象の企業を否定するような調査レポートの作成の禁止、報酬についても投資銀行部門の業務とリンクを外す、アナリストの

個人投資についても規制をかけました。また、公認会計士や監査人についてもSOX法ができ、内部統制やガバナンスを求められました。さらにサブプライムローンとその崩壊の問題が続きました。2010年代に入り消費者保護法とシステムリスクへの対策としてドット-フランク法ができました。

ヨーロッパでは、MiFid II(第2次金融商品市場指令)が来年施行されます。これまでは株式売買の手数料の中に調査費用が含まれていますが、この法律で調査費用は別に払いなさいという動きになっています。日本でも2012年以降に公募増資の時にインサイダーに属するような情報を機関投資家に提供し、それを利用して取引をすることが続発しました。2013年に情報伝達や取引手法



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

に対する規制や、課徴金の見直し、2016年には発行体の取材、情報伝達行為のガイドラインが証券業協会ですることができるようになり、アナリストの職業倫理の向上が求められています。

この後、講演では、信頼こそ資本市場と投資管理の根幹であること、CFAの職業行為基準や、CFA、CFA協会の存在意義、「投資業界の信頼を回復するための50の方法」から誠実性リストについての解説、最後にアナリストが抱えるジレンマを2つのケーススタディーを用いてわかりやすく解説していただきました。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

I-OWA マンスリー・セミナー座談会より

座談会：、原田 武嗣氏、参加者のみなさま
レポーター： 赤堀 薫里

岡本 | 最近フィデューシャリー・デューティー（以下、FD）が話題になることが多く、いい事だと思えます。ここでちょっと考えていただきたいのは、個人が FD を宣言するということは、個人が責任を負うことです。大きな企業が宣言した場合、それが実務を携わる人の行動にどれだけ反映されていくのか。私は全ての実務に携わっている人達が FD 宣言を出すべきではないかと考えます。

もし企業が考えている FD と個人の考える FD が違うと感じた時は、きちんと議論するということが必要なのではないのでしょうか。もっと行動に直結しないといけない。つまり、個人も FD 宣言をして、それを企業が容認するということは、従業員による企業のガバナンスにもなるのではないかと思うのです。

最近 CFA 協会から来たメールのバナーには、「You Put Investors First, We Put You First」とありました。これは「CFA のメンバーは、企



業の圧力や業界の圧力を全て跳ね返し、投資家を何よりも最優先し、投資家にとって利益になることをあなたはやるべきです」、そして、「CFA 協会はプロとしてのあなた方を最優先して守りますよ」ということを宣言しているのです。これはよく考えると非常に重い宣言です。日本の場合、会社の命令は従うのが普通ですから、「これはできません」と言っても「ばかなやつだな」で終わってしまう。仮に企業が違法行為と思われる命令を発したとして、その時に「それはできません」という従業員をきちんと守ってくれる組織が必要だと思うのです。それをするのは業界団体ではなくて、職業団体（プロフェッショナル団体）です。CFA 協会はそういう意味ではプロフェッショナル団体だと思います。FD が浸透していくためには、そういうものが必要でしょう。

参加者 | 具体的にはどう守ってくれるのですか。

岡本 | 1980 年代に受験した CFA の倫理の試験問題の過去問の中に、「ある会社にファイナンスの案件があるので、推奨レポートを書いてくれと上司から言われた。あなたは CFA として分析をした結果、買い推奨はできないと結論づけた。それでも書けと言われた時、あなたがプ



長期投資仲間通信「インベストライフ」

口としてとるべき態度は？」という問題がありました。模範解答を見てみると「あなたは会社を辞めるべきだ。辞めると同時にすぐにそのことをCFA協会伝える。CFA協会として業界の主要な関連企業にそれを通達として流す」というのです。そうすることで、企業としての信頼性が薄れてしまいますよね。企業の圧力に対してプロを守る制度ができているかどうかプロフェッショナル団体の一番の重要な点だと思います。同時に企業が違法行為に当たるかもしれないことを行う際のけん制にもなるのです。

参加者 | 分析者として評価してもらったことがフィーになるという形にならない時、会社に向かって、組織の利益を代弁するスピーカーになるということでは、顧客の利益と相關することにはならないですよ。



原田 | それぞれの立場で、それぞれ生活があるわけです。私が判断を迫られる時は、唐突に判断を下すと間違える場合があるので、時間がある場合は、あらゆる角度から考え、中立の立場の第三者だったらどう判断を下すのか日にちをかけてじっくり判断します。瞬時に判断を求められる時は、一定のルールのもと行います。自分も含めてごく普通の人が、倫理的な判断を下さなければならない時に、いろいろな状況の中で出すべき判断を出せないこともあります。大きな不祥事の中で、普通はそのようなことを犯すような人でない人が不祥事を起こしています。ちょっとした間違いで雪だるま式に問題が大きくなってきている状況があります。そういうことにならないように常に訓練をしていくことが大切です。どういう仕事でも、自分の利益があり、そこの相反があります。特に、金融商品、投資商品というようにリスクの大きい商品を取り扱うビジネスは、利益相反にさらされやすいのです。形があるモノを作って販売しているわけではなく、約束だけで商売しているわけですから。利益相反の立場にあると知らないうちに何かやっちゃってしまっていたのかなと感じることがあります。だからこそ、こういう取り組みを地道にプロモートしていく活動が重要なことだと思います。

参加者 | 正しい内部告発のやり方を原稿に書いたことがありますが、一つのチャンネルだけを使っただけでは駄目ですね。例えば、内部告発の目安箱があったとします。そこを通じて告発すると、企業のトップと直接コンプライアンスの部署に行く制度を持つ会社がありますが、それは信用できません。告発の内容をどうするのか、情報を握っている人達が個別に判断するようになるためです。何かの問題を告発しようとする時に、上司に言う、社長に伝えるというルートの中で解決することが、一番企業人としての正しい立場です。そこで握りつぶされそうになった時に別の



長期投資仲間通信「インベストライフ」

チャンネルを持たなくてはならない。例えばマスコミで書いてくれる人を確保するとか。CFA協会やアナリスト協会のようなものが、本当にアナリストの倫理を守ると機能してくれればいいですね。

90年代初に信託銀行が自己資本ではなく顧客のファンドから損失補填をしていました。私は最初、匿名の原稿を書きました。また、新聞社に記事を書いてもらうこともしました。多分会社は、私がネタ元だということはわかっていたと思います。余りに私を追い詰めると実名で出されると思い、お互い手を出せない状況が半年か1年ありました。

「イギリスの運用会社にトレーニングに行かないか？」と、追っ払われそうになりましたが、自分のキャリアをその信託銀行に預けた状態では非常にリスクだと思い転職しました。職場環境は良く、辞めたい会社ではなかったですけどね。

どこまでけんかするのは、その時の自分の状況次第です。十分な資産を持っていれば、実名で原稿を書いていたでしょうけど。もし告発をして会社を辞めたとしたら、恐らくどこも雇ってはくれませんよね。雇ってもらえる退路を確保しながら、かつ複数のチャンネルから情報を流せるかたちで戦わなければいけない。

アナリストということ言うと、ゴールドマンサックスや野村証券にしても、そこから餌を貰っている間は、客観的なレポートを書くのは無理だと言い切っていると思います。

原田 | セルサイドのアナリストが独立してカンパニーを作るという動きが今後活発化してくるでしょう。そのレポートは機関投資家が買うことになると思います。ただ実際問題、今セルサイドアナリストをやっている人の中で独立の会社を作り、ビジネスにできる人がどれくらいいるのか非常に疑問が持たれています。

企業にとってのスポークスマンみたいなところもあるし、証券会社と投資銀行と企業にとっては、コミュニケーションをとる大きなチャンネルになっています。今まで投資銀行と隔てられていた所で仕事をやっていた人が投資銀行に戻って顧客担当みたいなことをする人も出てくるかもしれない。また、上場企業に行ってIRの仕事をする人もいるでしょう。全体としては、セルサイドアナリストとして仕事をしてきた人はかなり少なくなると思います。

参加者 | セルサイドのアナリストが減ること自体にそんなに心配はしていません。バイサイドのファンドマネージャーの立場から言うと、そもそも証券会社のアナリストが書いているレポートは、皆が読んで内容が書いてあります。それは基本的に読んでも時間の無駄。ツアーガイドを見て旅行しているようなレベルです。

セルサイドから出てくる情報がどうのこうのとか、ファンドマネージャーやアナリストが減ることが株価形成によくない影響を与えるかということに対しては、そもそもいらぬのだから心配ない。

参加者 | バイサイドに入った方が、まっとうな仕事ができると思います。運用にアナリストの結果を正當に評価されます。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

岡本 | スチュワードシップやコーポレートガバナンスやフィデューシャリー等、いろいろなものが出てきていますが、仏作って魂入れずじゃしょうがないですね。
実を入れる箱をこれだけ作ったのだから、実のあるものにしていかなければ、もったいないですね。いろいろ問題は多いみたいですけどね。少しずつ進めていけばいいと個人的には思います。今日はありがとうございました。



Investor Protection Trust 訪問記および 動画「When I'm 65 (私が 65 歳になったとき)」紹介～①

講演：岡本 和久

2017 年 5 月、久しぶりに海外出張をしました。CFA 協会の年次総会がフィラデルフィアであったのでそれに出席、その後、バンガードで確定拠出年金の教育担当の方、子供のための「クラスルーム・エコノミー」担当の方と面談、そして、ワシントン DC へ移動し、子供のための投資教育 NPO のジャンプスタート(Jump\$start)と投資家保護と教育を手掛ける NPO、インベスター・プロテクション・トラスト(Investor Protection Trust、以下 IPT)を訪問しました。



それぞれ、非常に勉強になりました。今回はそのうち IPT で学んだことと同 NPO でいただいた動画「私が 65 歳になったとき」の抄訳を二回に分けてご紹介します。

お会いしたのは Don M. Blandin さん、IPT の社長兼 CEO で投資家教育に長い経験を持ち政府のアドバイザーなども務めた方です。IPT の概要を以下にまとめておきました。

- IPT は投資教育を行う非営利団体(NPO)である
- IPT の目的は消費者が適切な投資判断を行うために必要な独立かつ公平な情報を提供することにある
- 複数州にまたがる違法行為を決着するために 1993 年に設立され、独立した非商業的投資教育を提供している
- 2003 年に NASAA、U.S. SEC、FINRA、NYSE は、米国の大手インベストメントバンク 10 社に対し、インベストメントバンキング部門とリサーチ部門に利益相反があったことにより処分を行った。そのうち 8 社が総額 8000 万ドルを投資教育目的のための資金を支払うことに合意した。そのなかの 3000 万ドルが州の証券監督者に支払われ、IPT の指導のもと投資教育に使われている。その後も州による処分金額が IPT に支払われ続けている
- IPT はその他の組織が行う投資教育と投資家保護活動を主催している



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

非常に興味深いのは IPT が違法行為のあった金融機関からの献金で成り立っているということです。本来は罰金を政府に払うわけですが、その罰金の一部を IPT に献金することで投資教育が行われているのです。

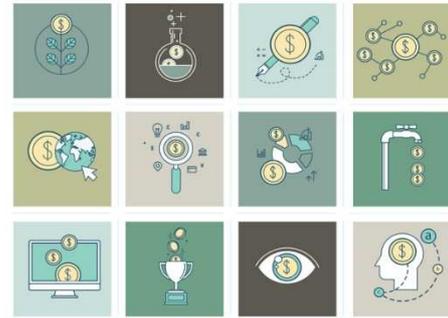
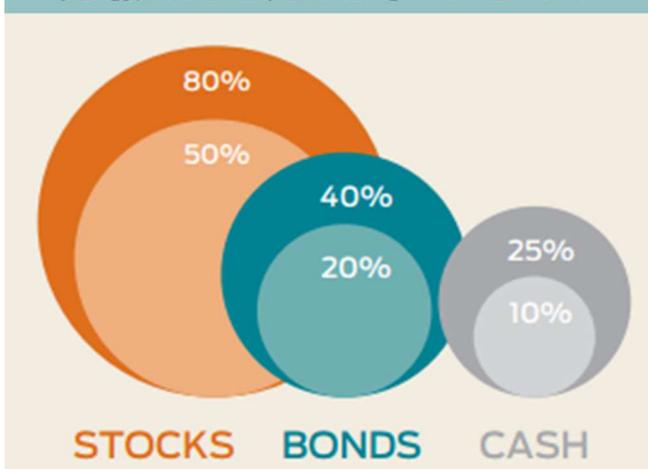
主として投資教育を行う人向けの教科書として「貯蓄と投資の基礎」というテキストがあります。

そしてこの内容に基づく個人向けの学習用パンフレットがたくさん作られています。例えば、「株式投資の基礎」では

- 株式は短期的には予測できない動きをするが、長期的にはすぐれたリターンを提供してくれる
- 株式は世界経済の将来の成長に参加できるベストの投資対象だ
- あなたが理解できる会社だけにのみ投資をしない

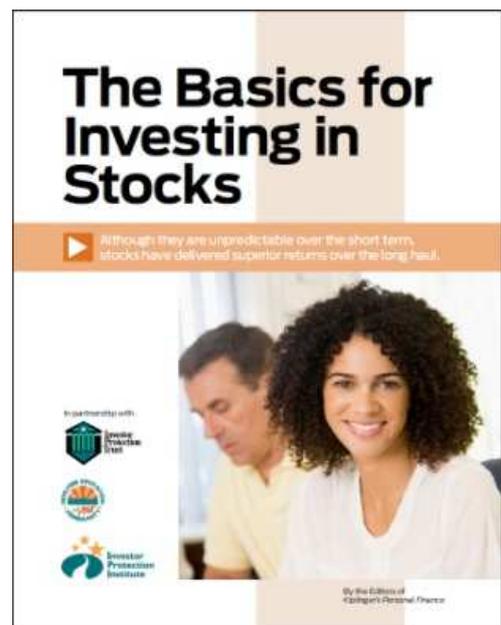
などの点が強調されています。そして、株式、債券、現金の保有にはそれぞれの配分比率が重要であること、さまざまな投資対象のリスクは異なることなどが分かりやすく書かれています。

分散は配分比率で考える



THE BASICS OF SAVING + INVESTING

INVESTOR EDUCATION 2020



リスク・ピラミッド



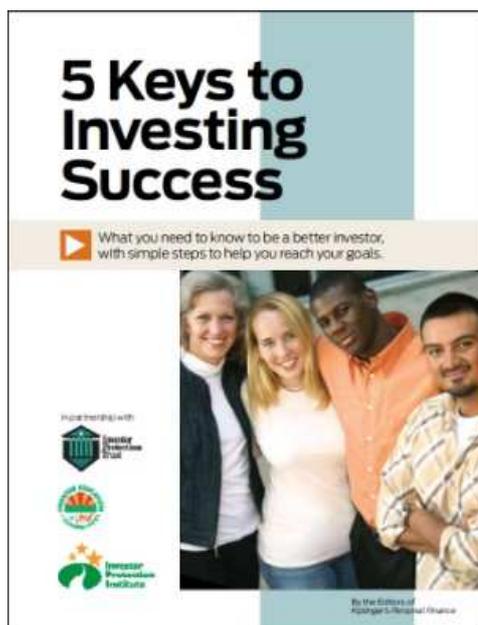


長期投資仲間通信「インベストラ이프」

さらに、「投資で成功するための五つの秘訣」というパンフレットもあります。「秘密はない、成功のための五つの秘訣」は以下のようなものです。

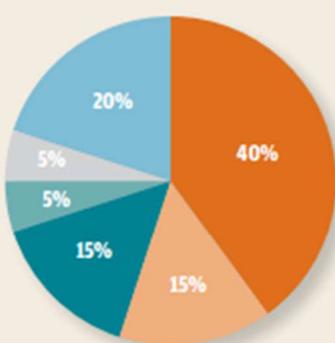
- 投資を習慣化する
- チャレンジングな目標を設定する
- 不必要なリスクをとらない
- 時間を味方につける
- 分散せよ

「ミューチュアル・ファンドとETF」というパンフレットでは資産運用を行う上でミューチュアル・ファンドとETFだけで十分であることを述べ、適切な使い方をすれば、リタイアメントや住宅購入のための貯蓄を何倍にもしてくれる、さまざまな投資対象があなたの巣の卵を育ててくれるなどの利点が解かれています。また、ここでは目的別のサンプル・ポートフォリオも紹介されています。



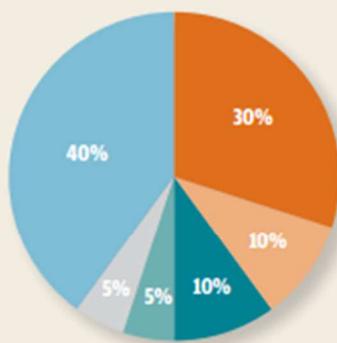
目的別サンプル・ポートフォリオ

LONG-TERM PORTFOLIO
For a goal 15 years away or more



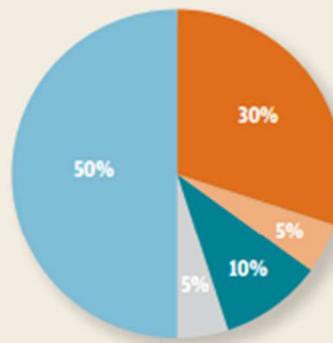
Large U.S. companies
Small U.S. companies

MID-TERM PORTFOLIO
For a goal 5-15 years away



Large foreign companies
Emerging-markets companies

SHORT-TERM PORTFOLIO
For a goal fewer than 5 years away,
or a steady portfolio for retirement.



Real estate stocks
Bonds

興味深いのは「教育資金の投資をどうするか」というパンフレットもありました。大学進学するためにその資金をどのように準備したらよいのかという解説書です。アメリカでは、2年制の短大でも毎



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

年 2965ドル、州立大学だと 8244ドル、私立であれば 28500ドルの費用が掛かるといわれます。そのためには州が提供する投資非課税口座 (529 Savings Plan) があります。この口座を使うことで、大学進学のための費用が連邦および州(州による)税から免除されます。拠出は課税後の資金となりますが投資収益および適合した教育資金使途のための引き出しも非課税となるのです。

教育資金準備は十分に貯めるのは難しく思うかも知れないがきらめてはいけないことが強調されています。そして

- ❖ 1926年から今日まで株式は平均 10%のリターンを生み出している
 - ❖ 株式が怖い、あるいは投資期間が 8 年以下の場合は債券も保有する
 - ❖ 投資が苦手であればミューチュアル・ファンドを考える
- などのアドバイスが与えられています。



もちろん「リタイアメント資産を最大化する」というパンフレットもあります。こんなことが強調されています。

リタイア後の生活の質は、いま、あなたがどれだけ貯蓄と投資をするかにかかっている。そして、投資の三つの基本ルールは

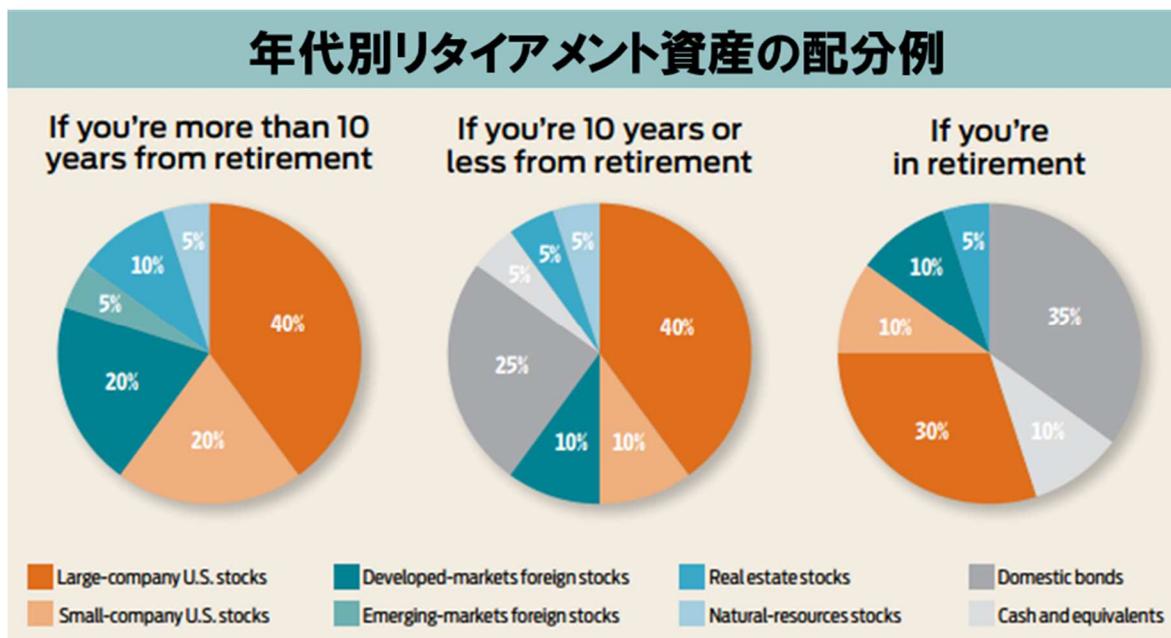
- ① 時間を味方につける
 - ② すべての投資はリスクがあることを知る
 - ③ 分散せよ
- です。

資産配分については投資期間が 10 年以上、10 年以下、





すでにリタイアしているの三つに分けて例が示されています。



「アドバイザーの選び方」というパンフレットもありました。「何千もの金融の「プロ」があなたにアドバイスを与えたがっています。最適なアドバイザーはこうして選ぼう。」という内容です。日本では独立したアドバイザーが少ないこともあり、あまりこの視点での解説が見受けられませんが米国では非常に重視されています。ポイントのみ紹介します。

こんなときにはアドバイスが必要

- ❖ 転職に伴う退職資産の移動の手続きは？
- ❖ 結婚に際し、貯蓄、負債、投資、その他の債務に関しお互いに理解しあうには？
- ❖ 相続した遺産をどのように運用すればよいのか？
- ❖ リタイアメント資産が大幅に減少する事態が生じたがどうしたらよいのか？

アドバイザーの以下に注意

- ❖ 不適切なリコメンデーション
- ❖ リスクに関する虚偽の表示
- ❖ 過剰な集中投資

アドバイザーを選択するとき聞くべき五つの質問

- ❖ あなたはどんな研修を受け、どんな仕事をしてきましたか
- ❖ あなたの投資哲学と実績はどのようなものですか
- ❖ あなたの法律で決められた開示書類のコピーをいただけますか
- ❖ 私たちの仕事面での関係はどのようなものになるのでしょうか
- ❖ サービスの対価はいくらですか



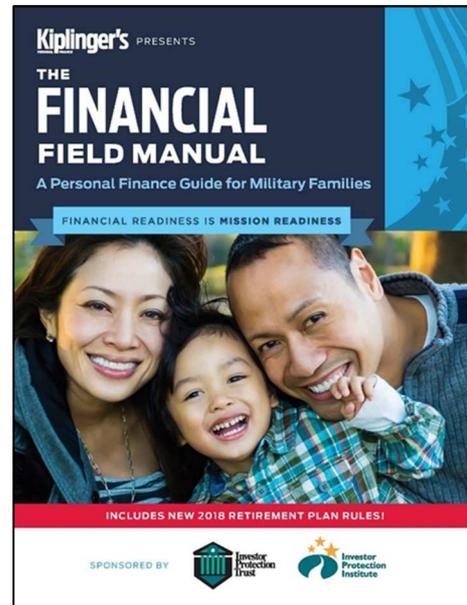
長期投資仲間通信「インベストラ이프」

アドバイザーとの間で問題が発生したら

- ❖ アドバイザー当人と話す
- ❖ アドバイザーの上司と話す
- ❖ 政府機関などに相談する

資料のなかにはこのようなものもありました。「軍人家族のためのパーソナル・ファイナンス」というものです。まさにかゆいところに手が届くような解説がされているのに感心しました。

これらの資料は NPO 法人である IPT が制作し、そして、各州がそれを州内で活用しているわけです。金融機関が主体的に動く金融・投資教育ではなく独立した NPO がその役割を担っている点が重要であると思います。



<WHEN I' M 65(私が 65 歳になったら)>

IPT が制作した「WHEN I' M 65(私が 65 歳になったら)」という 1 時間の動画があります。各州のメディアなどで放送されリタイアメント・プランニングの教材として使われているようです。今回の訪問で DVD をいただきました。

アメリカのごく一般生活者を対象としてわかりやすく「将来の自分はいまの自分が支えるより仕方ないですよ」というメッセージを繰り返し伝えていきます。ベビーブーマー、GEN X 世代、ミレニアル世代などのお金に対する考え方の違い、生活者の実体験に基づく話など非常にうまくできています。また、政府がどのような手を打っているのか、その問題点と進捗状況などもわかりやすく解説されています。

ノーベル経済学者のロバート・マートン、新進気鋭の行動経済学者、ダン・アリエリーなどが明確に「政府や企業に頼っているだけではいけないのだ、自分で行動をとらなければ大変なことになる」ということを述べています。このようなある意味、危機感が生活者のなかに醸成されてこそ投資知識に対するニーズが生まれてくるのではないかと思います。

私としてはできるかぎり正確に訳したつもりですが、DVD の音声聞いての訳なので自信のないところもあります。あるいは聞き違いなどがあるかもしれませんがその点はお含みおきください。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

「私が 65 歳になったとき」

あなたのゴールデン・イヤーズ。20 年、30 年、40 年先のこと。まだまだ、ずっと先。しっかりお金をためていますか？退職後のための貯蓄、できていますか？

リタイアなんて言葉、聞きたくない。まだ、先のことだし。

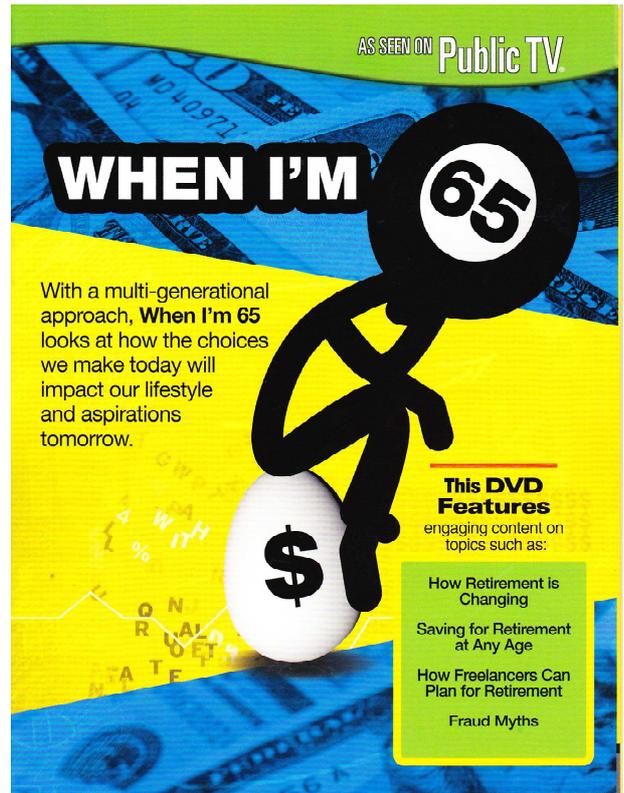
退職後、大丈夫だと思いますか？まだ、先のこと、ぼんやりとしか考えられないよ。そんなずっと将来のことなんてわからない。

<長寿化>

おめでとうございます！

医療の進歩と栄養の改善で長寿化が進んでいます。特に若い人の寿命が延びています。

長寿化はグッド・ニュースです。でもそのためにはずっと長い期間、リタイアメントのための準備をしなければなりません。ゴールデン・イヤーズ、リタイアメント、どのように名付けても、みんなが直面する問題です。80 歳まで、90 歳まで生きる可能性があります。ゴールデン・デケードなのです。



ロバート・マートン

(Robert C. Merton, Distinguished Professor of Finance, MIT Sloan)

長寿はグッド・ニュースです。

でも、長く働き、より多くの資金を準備しなければならないことを認識すべきです。

ナイト・キプリンガー

(Knight Kiplinger, Editor in Chief, Kiplinger Personal Finance)

65 歳の退職というのは 1933 年ごろにできた慣習です。当時、リタイア後の人生は 8~10 年程度でした。

アリシア・ムンネル

(Alicia Munnell, Director for Retirement Research - Boston College)

22 歳から 62 歳まで 40 年働くということは、少なくともその後の 20 年分をその期間に準備しなけ



長期投資仲間通信「インベストライフ」

ればならないということです。

ダン・アリエリー

(Dan Ariely, Professor of Psychology & Behavioral Economics, Duke University)
毎年の収入は今年のご生活費と将来のご生活費の両方であることを知るべきです。

ケン・ダイクトワルド

(Ken Dychtwald, President & CEO, Age Wave)
多くの方がただ、何とかなるだろうと幸運を願っている。

シンディ・ホーンセル

(Cindy Hounsell, President, Women's Institute for a Secure Retirement)
多くの方が 65 歳になってから、さあ、これから 30 年、どうしよう考えるのです。

ローラ・シン

(Laura Shin, Financial Journalist, Forbes)
多くの方が現実に圧倒されてどうしたらいいかわからなくなってしまう。

デイビット・ジョン

(David John, Deputy Director of Retirement Security, The Brookings Institute)
多くの方が全くノー・アイデアだ。

ケリー・ハノン

(Kerry Hannon, Author, PBS Next Avenue)
みんな不安でいっぱいです。

状況はこんなに複雑ではなかった。我々の親、祖父の時代には年金が面倒をみてくれたのです。

<DIY リタイアメント>

401K というおなじみの名前では呼ばれている確定拠出年金、そして IRS (個人退職講座) が昔の年金にとって代わりました。

デブラ・ホイットマン

(Debra B. Whitman, AARP Executive Vice President for Policy, Strategy & International Affairs)
自分の将来のための資金準備の責任が非常に大きく個人のもとにシフトしました。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

昔の年金が過去のものになると同時に年金が DIY リタイアメントになったのです。経済的に安心なリタイアメントはあなたに始まり、あなたに終わるのです。

ロバート・マートン

高速道路にでて車のマニュアルを渡されて、さあ、これで運転しなさいと言われるようなものです。もし、それがうまくいかなければそれはあなたの問題なのです。

人生のそれぞれのステージで判断を迫られます。どのようなプランに加入するか、いくら拠出をし、巣のなかの卵を育てるか、その卵をどれぐらいの大きさにしたいのか、転職をしたときにその卵がどうなるのか、そして最後にリタイアしたときに毎年、いくら引き出し、その資金で生活を楽しめるか、生きている間、資金が枯渇しないですむか。

昔の年金制度では個人はこのような決定をする必要はなかったのです。あなたは自動的に企業が設定する年金制度に加入し、決められた資金を出し、投資の判断を運用者に任せ、そして、キャリアの最後には 100 万ドルとはいわなくても、それなりの資金を手渡してくれる。それで人生の最後まで生活ができる。でも、現代はこんなに単純ではありません。

<ベビーブーマー、GEN X、ミレニアル>

あなたが来年リタイアしようと、40 年後にリタイアしようと すべてのジェネレーションが リタイアメントに向けての チャレンジに直面しています。

ケン・ダイクトワルド

我々は繁栄の時代に育ちました。資金面でもあまり心配はありませんでした。ただ、それが問題を起こしています。つまり、貯蓄をしなかったのです。クレジットカードを入手するのも簡単だったし、借金も簡単にできた。セカンド・モーゲッジも簡単にできた。そして、みんな、すばらしい老後が待っていると思っていた。でも、ベビーブーマーのほとんどはそんな生活ができないのです。

GEN X 世代(1960 年代初頭または半ばから 1970 年代に生まれた世代)はその様子を見て、貯蓄に対して少し責任を持たなければならないと思っています。また、退職後の生活ビジョンも現実的です。彼らは退職して気楽な生活が待っているとは思わず、住宅をシェアするとか、生活費の安いところに引っ越すなどが必要だと考えています。

ミレニアル世代(1980~2000 年頃に生まれた若者)はベビーブーマーの親たちが苦勞しているのを見て、もう少し警戒的です。まあ、1920 年代の大不況ではないにしろ、この 10 年ぐらいの 経済的にボラティリティの高い時代に生きて かなり将来を意識しています。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

ベビーブーマーは 401K の資産が 2008 年の暴落で大幅に減価し、いまや取り戻すに十分な時間ありません。ややシニカルな GEN X 世代は多くの暴落を見てきてシステムそのものに懐疑的です。

そしてミレニアルは就職難の時代に社会にでました。学生ローンの返済に苦しみ、株式市場の暴落も体験しています。そして、彼らの貯蓄はキャッシュ、現金です。もしかしたらマットレスの下に隠してあるかもしれません。しかし、現在の制度下では資金を増やし、安心な退職後を過ごすためには 株式市場を使うよりほかに方法がありません。

ケリー・ハノン

ブーマーの状況が厳しいのは現実ですが、やはりもう少しアグレッシブにならないとしょう。

マリアンヌ・キルケニー

(Marianne Kilkenny, Founder, Women for Living in Community)

我々の多くはそろそろリタイアすると思っているかもしれません。しかし、我々が計画していたようにそれほど早くリタイアするのは無理でしょうね。

アルフレディア・ディッグス

(Alfredia Diggs, Home Healthcare Aide)

リタイアしてあれもしたい、これもしたいと思ってもなかなかそうはいかないでしょう。

トム・ベル

(Tom Bell, IT, State of Michigan)

せめて子供には早くからリタイアメントのことを考えてもらいたと思います。自分はそれをあまりしてこなかったですから。

ダニエル・ビス

(State Senator, Daniel Biss, Illinois, 9th District)

社会全体として「個人にもっとこのことを考えてもらおう」と思っています。

<リタイアメントの準備はなぜできないか>

でも現実的にはどれぐらいそれができるか疑問です。2013 年の中位所得の家庭の退職資金、IRA と 401K の合計は 11 万 1000 ドルです。結構な額だと思うかもしれませんが、これはソーシャル・セキュリティに加えて月々 400 ドルでしかないのです。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

ダニエル・ビス

アメリカ人はリタイアメントに対し準備不足です。これはクライシスです。恐ろしいことであり、大きな問題です。

なぜ、我々はこんなに現実に対して遅れをとってしまったのでしょうか。
あなたはどこへ行くのか知っている。必要なのは少しの計画とアドバイスだけです。

ダン・アリエリー

非合理的な結果が起こる一つの要因は 決定を行う際の自信過剰です。

行動経済学者のダン・アリエリーは 我々が 正しい、または誤った決定を行う理由を 研究しています。人々はいつも、いろいろな選択肢を長期的な視野で検討することができると思っています。しかし、現実はそうではありません。悲しいことですが、それが真実なのです。

進化を考えてみると 我々の頭脳は 熊やライオンから逃げることを常に考え、長期的な視野で将来を見すえることにはなれていません。そしてストレスと感情が我々の判断をくもらせてしまいます。多くの決定をするほど我々の結果は悪くなります。長期、多くの複雑な決定、ストレス、感情、思い当たるでしょう。現在のリタイアメント制度と 我々の遺伝的特徴により リタイアメント・プランニングは完璧に悲惨な状態です。

ダン・アリエリー

これは「現在対将来」の一番よいケースです。ナウ vs. レイターはいつも我々が間違えてしまう問題です。例えば、食べ過ぎ。いま、食べるのは楽しい。しかし、将来に問題が起こる。エクササイズ。いまはちょっと苦しいけれど将来、良いことが起こる。リタイアメントは現在対、ずっと、ずっと将来です。

我々は将来のことを計画するのが できないのみならず、現在の誘惑に非常に弱いのです。

ハル・ハッシュフィールド

(Hal Hershfield, Assistant Professor, Anderson School of Management UCLA)

我々の周辺には 誘惑がいっぱいです。新しい車、大きな家、最新の家電製品などなど。これらはみんなエキサイティングで気分を高揚してくれます。ずっと将来のために我慢するよりもはるかに魅惑的なのです。

ダン・アリエリー

もうひとつ、重要なことは我々の環境が戦いを挑んできているということです。すべてのお店は多大な宣伝広告費を使って消費を喚起しようとしています。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

彼らはあなたのリタイアメントを考えているでしょうか。「ノー」です。いま、お金を使ってほしいのです。まるで、ドーナツ、ソーセージ、ベーコン、その他、なんでもありますよ という誘惑に抵抗してリタイアメントに備えるということと同じなのです。

2000年代の初期にアメリカ人はほとんど誘惑に抵抗しようとしませんでした。金利も低く、信用の査定も甘く、住宅価格は上昇していました。これらがお金がどんどんでくるATMになったのです。そのとき、大きな音で目覚ましが鳴りました。2008年のクラッシュです。

ハル・ハシュフィールド

大波が引いてしまうとみんな裸だったことがわかったのです。それが金融危機で明白になりました。そして、資金を借りるのが難しくなると 誰が良い状態で 誰が悪い状態かということが はっきりしてきたのです。

<将来よりいまがだいじ>

太古の時代から 我々が持っている 頭脳の働きで、いまを我慢して将来のために備えるのが難しいのですが、しかし、現在の経済状況では サイフを廻るバトルは 贅沢品ではなく、毎日必要とするものなのです。

子供の学費や、車を修理したり、毎日、収入すべてのお金が必要とされます。将来は大事だとわかってても 今日のためのお金が必要なので 将来のために備えることができないのです。

デイビッド・ジョン

たぶん、いま、貯蓄しないで消費するというのは最も強力な誘惑でしょう。でも、それはまたもっとも大きな間違いになるでしょう。

ダン・アリエリー

だから個人を救うためには別の方法が必要なのです。リタイアメントに向けて貯蓄をする。それをしないとひどい状態がきて そのときにはそれを修復しようとしても 手遅れだということです。

行動ファイナンスの学者たちは なぜ我々が正しい決定をできないかだけではなく、どのようにしてより良い判断に向けて誘導していけるかを教えています。

ハル・ハシュフィールド

より良い決断というのは 本当はやった方が良いと思っていながら なかなかできない決断という意味です。もっとダイエットをすとか、もっと貯蓄するとかね。何か、決定を下す方法を変えることは できないものかということです。あるいは、決定を下す人を変更するとか。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

ダン・アリエリー

つまり、世界を変える。ハイパー・ラッシュではない人に決断を任せるといような。

貯蓄に誘導する鍵は 人間の行動、決定を下すのを嫌がる、そして人類が持っている自然の傾向を理解することにあります。

デイビッド・ジョン

人が決定を下すとき、特にそれが重要な決定のとき、そして、そのために どうしてよいのか わからないとき、しばしば、まあ、木曜日までには決めようなどと考えます。しかし、木曜日がきても何も起こらない。

ローラ・シン

401K の問題は 多くの人がサインアップ(加入)しないということです。仕事を始める当初、給料で生活が成り立つかどうか わからないこともあり、とりあえず様子を見ようとします。そうすると それが惰性になって そのまま加入しないで ずるずるといってしまうのです。

<貯蓄への誘導 オートマティック 401K>

約 10 年前、デイビッド・ジョンと仲間たちは この加入しないという惰性を打ち破るために、全員が自動的に加入するというオートマティック 401K を提案しました。この方式では従業員は自動的にプランに加入します。加入したくない人はそのような手続きをとればよいのです。

そのインパクトは驚くべきものがありました。従来方式による 401K では 初年度に加入する人は 20%のみで、さらに 3 年経っても 加入率は 65%のみでした。オートマティック 401K では 初年度に 90%が最初から加入し、3 年後には 98%にまで増加したのです。

デイビッド・シン

貯蓄することを決断しないと 困ったこととなります。オートマティック 401K では 早く貯蓄の必要に気づくことができるのです。

従業員にとっては 加入するのもしないのも 自由なのです。しかし、チョイスをフレーミングすることで貯蓄をしないと積極的に決めない限り 制度に加入することになります。その結果、加入率が 65%から 98%に増加したのです。リタイアメント目的の貯蓄のためには 早くその必要性を気づかすことが必要です。

ローラ・シン



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

とにかく早くはじめるのが重要です。

早く始めればそれだけ投資期間が長くなり、複利の効果が得られるのです。早く投資することで時間に働いてもらうのです。例えば 22 歳で 貯蓄を始めた ミレニアルがいるとします。そして 30 歳で新規の投資をやめるとします。一方、GEN X 世代の人が 40 歳から 67 歳まで貯蓄をしたとしましょう。67 歳時点の資産額を比較すると 若い人の方が 10 万ドルも 余分に持っているのです。投資額は わずかに三分の二にすぎません。要するに早く始めれば より少ない資金ですむということです。25 歳の人には 10%を拠出、35 歳は 15%、45 歳だと 30%を サラリーから貯蓄しなければなりません。

ダニエル・ビス

今後、40 年、50 年先を考えると 社会としてこの問題について話し合い、実行できるような制度をつくらなければこの問題は 絶対に解決しないでしょう。

オートマティック 401K は 多くの国民をより早く貯蓄に向かわせることに 成功しました。でも、アメリカの被雇用者の半分は まだ手が届いていません。

デイビッド・シン

アメリカの 非常に多くの労働者が 何かの方法で 貯蓄をする手段が 整っていないのです。これは非常に深刻な問題です。

<オートマティック IRA>

現在 7500 万人のアメリカ人が 会社がスポンサーとなった リタイアメント用貯蓄プログラムにアクセスできていません。

ダニエル・ビス

データは明白です。この人たちのうち、IRA(個人退職口座)を開いている人は 5%に過ぎないので。ほとんどの人は 貯蓄していないのです。

7500 万人の人というのは自営業、中小企業勤務者、パートタイマーたちです。そのうち、5300 万人が フリーランサーや自営業者です。これらの人々には 手が差し伸べられていないのです。彼等にもなんらかの手段を用意する必要があります。

オバマ大統領

ここにいるみなさん(議会に出席している議員)と同じようにすべてのアメリカ人が貯蓄できるように オートマティック IRA 制度を提供すべきです。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

オートマテック IRA は 401K は複雑すぎると感じる中小企業にとって低コストでシンプルな制度を提供できます。オバマ氏とマッケイン氏は 2008 年の大統領選の際に オートマテック IRA をキャンペーンのテーマとしました。しかし、政治的な問題もあり、現在のところオートマテック IRA は魅力的なブループリントにとどまっています。このような重要な政策が政治的理由で実行されないのは大きな問題です。

ダニエル・ビス

なかなか進展しないことにイライラしています。どこかの時点でもう我慢ができなくなるとさえ感じます。とにかく行動が必要なのです。

その結果、2015 年にイリノイ州が初めてこれを法制度化しました。所得から控除することで IRA に資金が入られます。オートマテック・エンロールメントで 行動ファイナンスが指摘する問題を解決し、余裕のある範囲で IRA を通じての貯蓄が可能となりました。

ダニエル・ビス

この制度によって将来のために今、貯蓄をすることがしやすくなったのです。現在、発生しているクライシスはこれから何十年も先に表面化してくる問題です。問題は深刻で、解決策はここにあるのです。だからこそ早く行動することが必要なのです。

イリノイに続いて、イリノイ方式に若干の修正を加えた方式が、カリフォルニア、コネチカット、ニュージャージー、メリーランドなどで法制化され、さらにこれは他の州にも広がりそうです。州独自のプランや IRA を検討しています。つまり、そうすることが州自身の経済にとってもメリットがあると感じだしているからです。

ダニエル・ビス

自らリタイアメント・システムを修正できれば人々が安心して尊厳のある生活を州の世話にならないで送れるのみならず、同時にそれは非常に大きな州の財政上の助けになるでしょう。

近年の政治の世界では珍しいことですが、オートマテック IRA は共和党、民主党、どちらが優勢の州でも支持されています。

デイビッド・ジョン

少なくともこの一点に関しては政党を超えて協力できると考えています。

ダニエル・ビス

一部の人はこの制度について「私の給料が天引きされてどこに行ってしまうんだ」というのでオプ



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

トアウトします。でも、それはそれでいいのです。

オートマティック IRA 制度のない 5300 人のフリーランサーと自営業の人が、実はアメリカの被雇用者の三分の一にあたり、増加しているのです。雇用環境により GEN X は親の仕事を引き継ぐケースも多く、約 40% のミレニアルがフリーランサーか、自営業者で、しかもそれが増加しています。

サラ・ホロウィッツ

(Sara Horowitz, Founder & Executive Director of the Freelancers Union)

多くの従業員がすべての責任を自分たちに追いかぶせられてきていると感じ不安に思っています。我々は何かその対策を考えなければなりません。

もし、企業がスポンサーになるリタイアメント・プランが退職後のために貯蓄をするということが、将来よりも今を優先する洞窟に住んでいた我々の先祖から引き継いだ頭脳にとって困難であるなら、フリーランサーにはどんなチャンスがあるのでしょうか。今日、ミレニアルの 40% がフリーランサーとなっており、しかもそれが増殖している現状は 金融サービス業界を変貌させつつあります。つまり、彼らが得意とするテクノロジーの利用です。

マット・ケリー

(CEO and Co-Founder, ABARIS)

ミレニアルは簡単に使いこなしますよ。

テクノロジーの利用で最新の状況が瞬時にわかります。オンライン・バンキング・アプリ、予算管理アプリ、さらには大学の同期生とのチェック口座の比較まであります。

マット・ケリー

そしてミレニアルから始まっているこのトレンドは他の世代にも広がりつつあります。

<利益相反に注意>

401K や IRA は経済的に安心な リタイアメントのための たくさんある解決策の一部です。退職後の準備は不十分であるとはいいながら、この DIY リタイアメント・システムの資金は 10 兆ドル以上になっています。そして、金融機関は あなたの巣の中の卵(将来のための資金)を増やすべく準備万端整えています。でも、正しい投資の選択をするのはしばしば、複雑でリスクです。

デイビッド・ジョン

多くの人はまったくノー・アイデアです。危険、詐欺のような話をいつも聞かされています。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

ローラ・シン

未来を教えてくれる水晶玉がない以上、分散投資をするより 仕方ありません。

マーケットにはすべてのニーズに合う(フリーサイズ)の ターゲット・デート・ファンド という商品があります。あなたの年齢とリスク許容度に合わせて 分散をしてくれるファンドです。

一部の人は自分自身の リタイアメント・プランを持ちたいと思っています。しかし、多くの人にとっては荒波が逆巻く株式市場に飛び込むのはかなり難しいものです。ですから、彼らは投資の判断をフィナンシャル・アドバイザーに相談します。

トム・ベル

22 歳で社会にでたとき、私は貯蓄をしていませんでした。その会社にはペンション・プランがありました。しかし、それさえもあまり意識しませんでした。ただ、お金を得るために働く、それだけでリタイアメントのことなどまったく考えませんでした。

トムの会社は年金制度を廃止し、積み立てた資金を一時払いしました。

トム・ベル

突然、多額の資金を一括でもらってどうしてよいかわかりませんでした。投資のことなど 考えたこともなかったのですから。それでファイナンシャル・アドバイザーのところへ行き、この金をどうしたらいいのかを相談しました。それでマネージド・ファンドという商品とその資金であまりよくわからずに買ったのです。

テレサ・ギラルダッチ

(Professor of Economics, New School for Social Research)

多くの人が私は大丈夫。私を助けてくれるあの人がいるから・・・といいます。それを聞いた時に私の血圧が上がり始めるのです。

クヌート・ロスタッド

(Knut Rostad, President, Institute for Fiduciary Standard)

アドバイザーの選択は難しいものです。どの人もみんな見た目も似ているし、同じようなことを言います。しかし、それは違うのです。

投資家は プロダクト・セラー(商品販売員)は街角の肉屋さんの店員のようなものだと知るべきです。彼らはいろいろな意見を持っています。そして、一日中、肉を売っています。一方、栄養士はあなたの健康に何が良いかをアドバイスしてくれます。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

プロダクト・セラーとアドバイス・ギバー(アドバイスを与える人)、どちらがあなたに良いアドバイスを与えてくれるでしょうか。アドバイス・ギバーはフィデューシャリーと呼ばれています。法律であなたにとってベストのアドバイスを与えることを求められています。一方、プロダクト・セラーにとっての基準は スータビリティ (適合性)です。この意味するところは プロダクト・セラーはあなたに代わって投資をすることは許されず、プロフィールに適した商品を勧めることのみが許されています。その範囲であれば自分の利益にとって一番良い商品を自由に売ることができます。

テレサ・ギラルダッチ

ワイルド・ウエストのような世界です。彼らの求めるものは自分がコミッションを得ることのみです。

トム・ベルは巣のなかの卵を増やしたいと思っていたのですが、自分の思うようには増えなかった。独立心が強く エクスパートといわれる人に懐疑的な GEN X の性格として エクスパートと呼ばれる人はあまり信用しませんでした。彼は DIY アプローチをとり、自分で調査を始めたのです。

トム・ベル

自分でいろいろ調べました。投資をしている商品の手数料について詳しく知るようになりました。それまでフィーのことなんて 考えたこともありませんでした。だって、手数料は当然、取られるでしょう。ただ、そんなものだと思っていました。

手数料はリターンを引き下げるだけでなく時にマイナスにしてしまいます。現在の法律では証券会社や登録外務員は利益相反を開示することを求められていません。その結果、自分にとっての利益の大きいファンドを勧めようとするのです。

クヌート・ロスタッド

よく、たくさんフィーを支払うともっと儲かると思っている人もいます。でも、投資はまさにその反対です。たくさん払うと得るものが減るということです。

高いフィーはあなたの巣の卵で支払われているのです。時には非常に大きなものが小さくなってしまふこともあります。

トム・ベル

小さく見えるフィーを 退職するまで 何年も、何年も払っていると 大きな金額になってしまいます。まったく、頭にくるよ。

利益相反に起因する悪いアドバイスによりアメリカのリタイアメント資産が 170 億ドル減っているといわれます。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

テレサ・ギラルダッチ

そしてそのような行為を取り締まる法律がまったくないのです。

もし、法律がなく、消費者がプロテクションを必要であれば無人島にでもお金をかくさなければならぬでしょう。

議会

投資サービスに関する利益相反に大きな問題が存在します。

労働省が法律をつくろうとしましたが、金融業界のロビイストたちによってその努力は止まってしまいました。オバマ政権はフィデューシャリー基準をプライオリティと考えています。

オバマ大統領

個人が受け取っている投資のアドバイスは健全で安心なものでなければなりません。それがこの法律の目的です。質の高いアドバイザーたちが公平な条件のもとで、顧客を最優先したアドバイスを行うことが必要なのです。

オバマ政権のもとでフィデューシャリー基準は連邦のルールとなりました。しかし、金融業界はまだそれに抵抗しています。相変わらずワシントンの政界で議論は いったり来たりしています。法制化されるにはまだ時間がかかりそうです。当面、アドバイザーにフィデューシャリーとしての役割とどのように報酬を得ているかを聞くことが大切です。

経済的に安心なリタイアメントを迎えるためにはたくさんの障害や落とし穴があります。まるでアーケード・ゲームのなかに住んでいるようです。そこで生き延び、リタイアメント・ゴールに到達できればベストです。多くのアメリカ人にとってここに到達できることが最大の成功のカギになります。

デブラ・ホイットマン

政策的に国民がもっと貯蓄をするように働きかけることがされてきました。そのために多くの時間が使われました。しかし、どのように資金を引き出したらよいのかについてはほとんど何もなされていません。

もしかしたら いままで持ったこともないような資金を 手にしてリタイアできるかも知れません。しかし、それが今後の収入になりずっと続いていくのだということを理解しない人も多いのです。その期間がどのくらい続くのかを我々は知らないのです。

問題は早いうちに始まります。退職後の目標を定めるには大きな金額の資金が必要です。多くの人が、リタイアメントが来る前のその資金に手をつけてしまいます。教育や健康などの重要な目的



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

のために使ってしまうこともあれば、時にはただ浪費してしまうこともあります。

ケリー・ハノン

実は、私は 30 歳のときに 401K プランの資金を現金化してしまいました。私はその時は本当にそうしなければならないと思っていたし、それほど大きな金額だとは思いませんでした。だから特にどうということはないとおもったのです。そのようなことはよく起こります。

特に若いときから巣の中の卵を少しずつ削っていくと複利で損失が大きくなります。いまはわずかな金額だと思っても複利のマジックであなたの退職後の資金から大きな金額を失うことになるのです。引き出すときはかなり大きなまとまった資金のごく一部だと思ってもそれが将来の毎月の生活費に与える影響は非常に大きいのです。多くの金融機関が退職後のための資金の状態をこのような形式で表示するようになっていきます。つまり、現在の残高とそれが毎月の生活のための収入としていくらになるかをわかるようにしています。

デイビッド・ジョン

これは非常に単純なディスクロージャーです。しかし、非常に大きな影響を人々にもたらします。なぜならこのような表示形式によって単なる資金の塊ではなく、将来、長く生活を支える資金だと気が付かせることができるのです。

退職後の資産運用の目的は退職後の年月をずっと支え続けるキャッシュフローを確保することなのです。同時にそれは次のチャレンジなのです。リタイアメントを生きるためにいったいいくらいるのかを予測するのはとても難しいものです。しかも、長寿化時代の今日、どれぐらいその資金が続くかもわからないのです。

マット・ケアリー

(Matt Carey, CEO & Co-Founder, ABARIS)

あなたが債券に投資をしていれば、いつも自分はいったいいつまで生きるのだろうと考えることになります。それは非常に答えるのに難しい質問です。

ナイト・キプリング

ポピュラーな方法として 4%ずつ引き出していくというのがあります。その前提としてあなたの巣のなかの卵が毎年 4%以上で増えることを想定しています。ですから年平均のリターンよりも少し低い比率で引き出していけばいいわけです。

しかし、4%のリターンを債券で得るのは今日の低金利では昔ほど簡単ではありません。ですから株式への投資が必要になるのです。その結果、高齢者には耐えられないほどのリスクをとることになります。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

デイビッド・ジョン

単純な現実には、もし、資金が枯渇するとしたらそれはあなたの人生の終わりの近くで起こることです。しかも、いまは非常に複雑な投資の判断をするときではありません。なぜなら、残された時間も限られているからです。

この世代の人たちはしばしばサイレント・ジェネレーション、静かなる世代と呼ばれています。ベビーブーマーの前の世代の人たちです。年金も十分にあり、いくら投資をしていくら引き出すかというような難しい判断をする必要もありませんでした。確かに退職に当たって 100 万ドルの小切手もらうこともなかったですが、高度成長期に非常に安定した収入を得ていました。ソーシャル・セキュリティも同じように機能を果たしていました。保証された支払が終身にわたって支払われたのです。ですから理想的にはこのような年金支払いのモデルを現在の制度で複製することです。401K と IRA はアニュイティ、つまり年金払いの商品を提供する必要があります。

ナイト・キプリンガー

リタイアメントが近づいてきてアニュイティ商品を買うことは自家製の「インスタント・ベンション・プラン」のようなものです。

一番単純な形ではアニュイティは保険商品です。一定の金額を保険会社に渡し、保険会社はあなたが生きている間、ずっと決められた金額を毎月支払ってくれるというものです。保険会社に渡した資金は株式市場に投資され、一般に言われている 4% の引き出しルールと異なり、あなたの資金は市場の変動の影響を受けません。

シンディ・ホーンセル

あなたは別に毎日市場の動きをチェックする必要はありません。いったい引き出し額をいくらにしたら資金が枯渇しないで済むかというような不安はなくなります。アニュイティはそのような問題を解決してくれるのです。

アニュイティは 2008 年にマーケットがメルトダウンしたときから急増しました。経済の嵐から逃れる安全な港になりました。

デイビット・ジョン

現実を直面しましょう。これからも経済危機は起こるでしょう。ちょうどハリケーンのようなもので人生にはつきものです。その点でこのような商品は非常に有効です。危機が起こらないように願っているだけでは仕方ないのです。

しかし、アニュイティにみんなが殺到することは厳しい調査の対象となっています。評論家は一部



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

のアニュイティは非常に高額の年間手数料をとることを指摘しています。また、他の人はアニュイティが約束している予定利率は生涯にわたって払い続けるには十分でないと言っています。要するにアニュイティはすべての人に適しているわけではありません。結局、適合性の問題です。適合性、覚えていますね。

ナイト・キプリンガー

アニュイティは議論のあるテーマです。あらゆる投資商品に賛否があるのと同じです。すべての資金をアニュイティに入れるのはよくありません。あくまで、保証された収入として、ソーシャル・セキュリティの補完として考えるべきです。

あなたがいくら必要かをこの円グラフで見てください。基本的な家計部門の支出の構成です。このうちソーシャル・セキュリティでカバーされるのがこの部分です。そこで毎月の収入の不足分を得るためにアニュイティを買うということです。

アニュイティは一つのオプションです。状況によってその他の投資対象もあなたの補完的な年金となりえます。フィデューシャリーであるフィナンシャル・アドバイザーに相談してみてもどうでしょうか。多くの人にとって特に、ベビーブーマーにとってそれは単に遅すぎるのです。彼らの貯蓄は少なすぎ、それを補うには手遅れなのです。では、いったいどうしたらいいのでしょうか。

(以下、次号につづく)



極限の貧乏から今日まで

第二話「再起」編

講演：土井 広文氏

秋田在住の土井広文さん。澤上篤人さんとのご縁で知り合いになった方です。秋田に何度かお邪魔して、セミナーを開催していただきました。お子さんたちとも仲良しになりました。土井さんはすでに仲間を集めて資産運用の勉強会を定期的に行っているそうです。

今年6月に土井さんがお客様を集めてくださり何度目かの秋田での講演が実現しました。遠方も含め、とても多くの方がお出でになりました。特に驚いたのは多くの方が土井さんの話を聞き、この半年ぐらいのうちに実際に投資を始めたということです。これはとてもすごいことです。私も、あちこちで講演をして歩いていますが時に話を聞いてくださる方のうちどのぐらいの方が実際に投資を始めているのだろうと思うことが多いのです。

きっと土井さんの話には何か人に訴えるものがあるのだろうと思い詳しくお話を聞きました。なるほど、納得です。机上の空論ではない現実のどん底脱出のストーリー、これから三回連載で自ら語っていただきます。(岡本)

前回の続編、「再起」編のお話しをさせていただきます。前回、行き着くところまでとことんたどり着き何かが変わった私は「そもそもお金とはいったい何なんだ!?!」、「お金持ちとは何なんだ!?!」と静かな疑問が沸き起こったところまでをお話しさせていただきました。

そんな疑問を抱いた私は、今考えるととても恥ずかしい話なのですが、「お金とは?」とか「お金持ちとは?」、「資産家とは?」という言葉インターネットで検索しました…。もちろん必要としている答えなど出て来るはずもなく、そもそも無一文の自分が「資産家」について調べたところで他人事ではかなく、「やはり、一生貧乏なままなのかな…」と漠然と考えていたものでした。

でも、いろいろとお金に関して調べているうちに、お金に関して書かれた本がいろいろと目に付くようになりました。それらの本を読んだところで、貧乏を脱出できる気は全くしませんでした、「もしかすると…」と淡い期待を抱いて、お金に関する本を読んでみることにしました。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

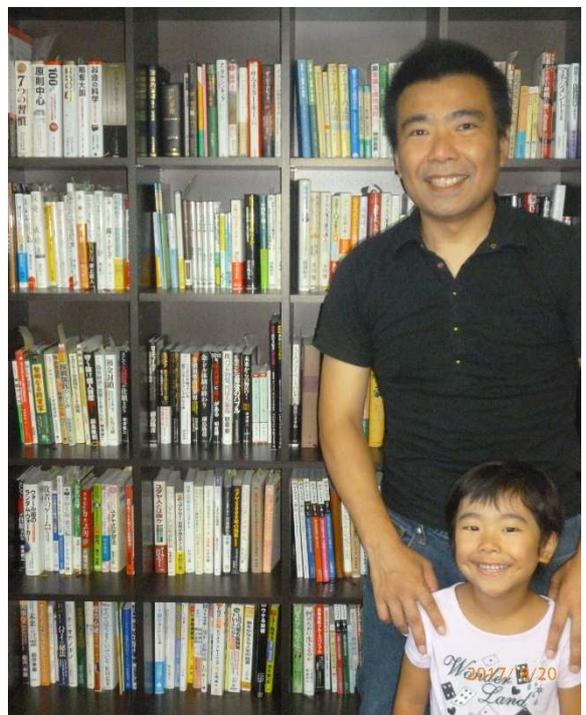
食べる物も買うのが困難だった状況なので、ほとんどの本はアマゾンで古本を買いました。最初に買った本はロバート・キヨサキ氏の「金持ち父さん貧乏父さん」という本だったと思います。本を読み慣れていない私には、字も小さく分厚く感じる本でした。内容は会社を作る話や不動産投資、株式投資について書かれているのですが、どれも当時の私には不可能と思える内容でした。会社を作る能力もなければ、不動産や株を買うお金もありませんでしたし、到底うまく行くとは思えませんでした。

ただ、「資産」と「負債」についての考えは私にはとても新鮮でした。書かれていたのは「資産とは持っているだけで自分のポケットにお金が入ってくる物のことで、負債とは持っているだけで自分のポケットからお金を持っていってしまう物」というお話でした。

当時の私は「負債」だらけで、「資産」と呼べるものは何一つありませんでした。お金持ちとは沢山のお金を持っている人のことではなく、このお金の流れを持っている人のことである事は理解できました。これはとても大きな収穫でした。そして、たとえ「資産」を持っていても「負債」を多く持っていればお金持ちの感覚にはなれないのだということも何となくですが、理解したものでした。100円前後の古本から得た、とてもとても大きな収穫を約束してくれる種だったのだと思っています。

そしてもう一つ「お金持ちになりたければ、お金について学ばなければならない」という話が私にお金について学ぶ動機付けをしてくれました。その後、お金が無いなりに古本を買ひ、まったくお金が無い時は図書館へ行ってお金に関する本を読むようになりました。そしていろいろな本を読んでいるうちに会った衝撃の一冊が「バビロンの大富豪」でした。

この本に書かれている「財産を築く不滅の原則」と「黄金の七つの知恵」という話を読んだ時に、「これは凄いことが書かれている…何とかなるかもしれない…」と興奮したのを覚えています。そして、分ったことは「自分はお金のことを知らな過ぎた…」ということ。私がお金について本気で学ぶことを決意することになった一冊でした。読んだことのない方は是非、ご一読をお勧めいたします。書かれている内容は本当でした。





長期投資仲間通信「インベストライフ」

学ぶことを決意した私は妻に「お金の本を買うから毎月、三千円をくれ」と打診しました。毎月三万円で生活しているのに、その中から「三千円をくれ」と言うのですから極限の世界です。日々、一円、十円を削って生活している我が家にはどうやってもお金はありません。

「さて…」と思った私は食費を浮かせて本代を捻出するために、近所に生えている山菜を採って食費を浮かせることにしました。そのために食べられる山菜を見分ける本(古本)を買って勉強しました。食料を確保するために、秋田市が無料で貸している市民農園を借りて野菜の種を撒いて野菜を育てたりもしました。野菜を育てるための本も買って勉強しました。夏の暑い時期には仕事の休憩時間に会社を抜け出し、ジョウロで畑に水を撒き、農作業をやりました。そして服に泥を付けながら会社に戻り、何事も無かったかのように仕事を続けました。

こうして食費を賄い何とか毎月、妻から三千円を貰うことが出来ました。私の貧乏脱出のスタートラインは資産構築からではなく、「生命を維持する」という人類の原始的なところからのスタートでした。

もし、お金について学校で教えてくれていれば、現代人の私が原始的な生活からスタートする必要はなかったと思います。スタートラインが、だいぶ後ろの方だったのだと思います。火のおこし方や石で包丁を自作するところまでスタートラインが後ろでなかったのは、この豊かな日本に住んでいたお陰かもしれません…(笑)。因みに、この時借りた市民農園はものすごく人気が高く抽選で割り当てられるもので、もし抽選に外れていれば今の私はありませんでした…。

勉強していく中で私は大切なことにも気付きました。それは自分が学ぶ内容は「子供に教えらるる内容でなければならない」というものでした。困窮した状況下で、何かいかがわしい手段で一時的にお金を手にし、貧乏を脱出できたとしても、それは子供には教えられない。学んだことはキチンと子供に伝えなければならないし、子供が将来生きて行くうえで使える正しい知識でなければならないという気付きでした。まるで誰かが私に教えてくれているような感覚でした。

子供に伝えることを前提に吸収する知識を選択し続けた結果、いかがわしい儲け話に引っ掛かることもなかった私は本当にラッキーだったと思います。引っかかるお金が無かったというのがありますが…(笑)

なんとか、本代を捻出し知識を吸収していった私ですが、肝心の資産を構築するためのお金はありませんでした。そこで、我が家の「負債」を手放す作業を始めました。最初にメスを入れた「負債」は車でした。都会に住んでいれば車は無くても生活できますが、秋田では一人一台持っていないと生活が困難なため、我が家ももれなく夫婦で二台保有していました。車が持つ負債のインパクトは非常に大きく、車検、保険、税金、ガソリン、オイル交換、タイヤ、スタッドレスタイヤ、バッテリー



長期投資仲間通信「インベストライフ」

交換、ローンの利息とあまりにも多くのお金を私のポケットから持ち出します。ポケットからお金がダダ漏れするのです。これではお金が溜るわけがありません。それが二台です。

まずはそれを一台にしました。もちろん生活には困りましたが、その不便な状況に生活を合わせることにしました。それから、月に一度の散髪を自宅で妻に切ってもらうことにしました。この散髪代も実はインパクトが大きいのです。私の頭は月一の散髪に 3,600 円 掛かっていたのですが、これは年間になると 43,200 円です。もし人生 80 年間 3,600 円払っていたとすると 3,456,000 円です。これを家族 5 人分で考えると 17,280,000 円です。家が建つ金額です。これを年 5% の投資信託で運用すれば年間で 864,000 円の利回りです。かなり大雑把な計算になりますが他人に髪を切らせている場合ではありません。

お金の不安がほぼなくなった今でも自宅で髪を切っています。なので私のボサボサ頭は今でも毎月、3,600 円とその利回りを「複利」で生み出し続けています(笑)。これはやめられません。秋田弁で言うところの「こいだばいい！ やめらいね！！」です。私の頭は「負債」から富を生み出す「資産」に変貌を遂げました。

妻は使っていたコンタクトレンズをやめて眼鏡にかえました。コンタクトレンズというのは結構、お金が掛かるものです。業界が儲かるための仕組みなのだと思います。人様のために払うお金は我が家にはありませんでした。その他にも生活の質を思い付く限り落として、我が家からお金を持っていく「負債」を徹底的に排除しました。

世間では見えない貧困ということがよく言われています。見えない貧困とは「一見、普通に生活しているようで実は貧困だ」というもので、テレビなどで子供の給食費が払えないとかフードバンクから食料を貰ってなんとかやりくりしている家族がテレビに出ていたりするのですが、でもその一家は家族でスマートフォンを持っていて、親子でゲームに夢中になっていたりします…。

確かに「一見、普通に生活をしている」ように見えます。私は雑草に近いものを食べて命をつないだ経験があるので、誤解を恐れずに言わせていただきますが、貧困なのに「普通に生活」をしていては貧困から抜け出すことは絶対にはないと思います。私は未だに、スマホを手にしたことがありません。

さて、いざ資産を買う段階になりどんな資産を買おうか？という話になりますが、不動産を所有するとなると大きなお金がいるし、運用するための知識と経験が必要です。素人にはとても無理です。不動産を運用する REIT 等もありますが、空き家対策で政府が対策に乗り出している中、不動産投資はプロが運用したとしても、とても厳しい世界だと思います。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

私は一般生活者が資産を構築するには株式や投資信託が一番優れていると思います。今は数万円からでも株式を買うことができます。投資信託なら月々500円から積立を始めることもできます。金融資産の非常に優れているところは「誰でも」、「能力不要で」、「今すぐ」、「少額から」資産の構築を始めることができます。株式投資なら、自分より優秀な経営者の方が運用してくれます。

例えば、トヨタの株を買ったとすれば、世界に名だたるトヨタの生産設備と経営ノウハウまでも所有することになります。自分は無能でも全く問題ないのです。自分がやる事は節約して金融資産を買うだけです。銘柄を選ぶ手間はありますが、投資信託であれば、それさえも本物のプロと呼ばれる人が仕事としてやってくれます。自分は「何もしなくていい」のです。こんな簡単でありがたい話はありません。

もちろん、月々500円で積立投資を始めたところで、大したお金は増えませんが、上がったたり、下がったりしながら時間の経過と共に増えていくことを知ることが出来ます。そこで投資が理解でき、不要な不安は消えてなくなり、いつの間にかワクワクに変わっていきます。

実際に投資信託を買う前に読んだ本は、中桐 啓貴氏の「ほったらかしでも1億円の資産を生む株式・投資信託の始め方」という本でした。この本は投資を経験したことのない方には投資がギャンブルではなく、難しい話でもないことを理解できるとも分かりやすい本です。この本で、「さわかみ投信」などの直販投信があることを初めて知ったのですが、中桐氏の仰る「国際分散投資」にとっても共感した私が最初に購入した投資信託は「セゾン・バンガード・グローバル・バランスファンド」でした。月々5,000円の積立投資を始めました。まだ貧乏を一歩も抜け出していません。毎月の生活費から本代と積立投資を引くと残りは22,000円です。

投資に関する本以外にも「お金」そのものについて書かれている本も数多く読みました。その中で、お金持ちほど「寄付」をしていることを知りました。そしてお金持ちと呼ばれている人は、お金があるから寄付をしているわけではなく、貧しい頃から寄付をする習慣があるということを知りました。お金持ちと呼ばれる人は「豊かな感覚でいることが次のお金を連れて来る」ことを知っているようです。なので、私も寄付を始めました。

私が寄付をしているのは鬼丸 昌也氏が運営している「テラ・ルネッサンス」という団体です。このテラ・ルネッサンスは幼くして戦争に駆り出され、学校へ行くことが出来なかった子供たちのために学校を作る活動をしています。生きて行くための教育の重要性を強く感じていたので、少しばかりですが今も続けています。

実際に寄付をしてみて分ったことがありました。毎月、ギリギリだと思って生活していても、いざ寄付を初めてみれば何とかなるものでした。そんな状況で誰かに寄付をしているという感覚は、お金に対する執着をみるみる消し去り、欠乏した感覚がなくなっていました。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

欠乏した感覚がなくなっていった私の収入は増えるようになり、金運はドンドン上昇していきました。お金が無いことへの恐怖が薄らいでいくのをハッキリ感じました。豊かな感覚でいることは、本当に次のお金を連れて来ます。お金持ちが積極的に寄付をする理由が分りました。

この寄付を始めた時点では、まだ貧乏を一步も抜け出していません。毎月の生活費から本代と積立投資と寄付を引くと…そこはもう「異次元」の世界です(笑)。今まで自分が持っていた価値観が全てリセットされました。貧しくあることを恥ずかしく感じる余地はどこにもなく、全く恥ずかしくなくなるのです。

「お金そのもの」に関する本を読む中で、お金とは「自分が創造した価値が記録された紙」であることを学びました。その「価値」とは何かと言うと「嬉しい気持ちの変化」のことでした。例えば誰かが大きな病気をして手術を受けたとします。その人は苦しい治療に対してお金を払うのではなく、「病気が治った、良かった」という嬉しい気持ちの変化に対してお金を払います。あるいは、誰かが車を買うとします。その時、鉄の塊にお金を払っているのではなく、車を買うことで「生活が便利になった、良かった」という気持ちの変化に対してお金を払います。その気持ちの変化は人によっては、その車が持つスタイルや性能だったりもします。

これは、たとえ詐欺などの犯罪であってもこれは同じです。オレオレ詐欺の電話がかかって来て「これは大変だ!」と思っている人に「お金を払えばこの状況を抜け出せますよ」と持ち掛けることで、「良かった、助かった」と気持ちの変化が起こると人はお金を払ってしまうのです。

お金とは「気持ちの変化」であることを学んだ私は「そうか、世の中の役に立っている会社、人を喜ばせている会社に投資をすれば、黙っていてもお金が流れて来るな…」と思うようになりました。今思えば、当たり前なことなのですが、当時の私には新しい発見でした。極限の貧乏を経験する前にも何度か株式投資はしたことがありましたが、何をやっているか分からない会社の株価を追いかけて売ったり買ったり、バクチ投資でしたので、この発見は投資を正しく理解することになりました。儲かりそうな会社ではなく、必要とされている会社に投資をすればいい。儲けは後の話なのだ。

そして、多くの本を読んでいく中で、金融の世界にはダークな部分もあり、お金は絶対的なものではなく、銀行の仕組み作り出した幻であることも知りました。コツコツと積立投資をしながら、自分なりに金融と投資に対する理解が深まるにつれて、どんどんお金に対する不安はなくなっていき、お金も増え始めました。

時に暴落も経験し、元本が割れて「やっぱり、投資なんてしなければ…」と思ったこともありますが、やめずに続けていくうちに、暴落は悪いことではないことを頭ではなく体で理解出来ました。そ



長期投資仲間通信「インベストライフ」

これは、暴落のたびに資産が大きく膨らんだからです。売ったり買ったりのバクチ投資は暴落で資産を減らすこともあると思いますが、長期的な視点でコツコツ投資をする場合は、暴落の回数が多ければ多いほど、暴落の規模が大きければ大きいほど資産は膨らみます。暴落というバーゲンセールはたっぷりと資産を増やすことが出来るスーパーボーナスステージなのです。

自分の中で「お金とは?」、「投資とは?」、「豊さとは?」という自分なりの考え方がまとまって来た頃に「さわかみ投信」の澤上篤人会長がインターネットでTV番組をやっていることを知りました。この番組は、隔週で視聴者からの質問に澤上会長が自ら回答する番組で、私は毎回欠かさず質問をしていました。澤上会長のお話は本物の投資に対する理解を一気に加速させてくれました。澤上先生の著書も何冊も拝読させていただきました。

投資は難しいものではなく、特別な人がやることでもない。知れば知るほど簡単で誰にでも身近であり、みんなが豊かな生活を送るために、なくてはならないものだとの理解が深まっていきました。投資やお金に関するお話は生きていくために不可欠な教育であり、人生の必須科目だと感じていた私は、当時まだ小学3年生だった長男にもその番組と一緒に見せていたのですが、そんな長男が「ぼくも、さわかみ先生に質問したい」と言い出したので質問してみることにになりました。

その時の質問の内容は忘れてしまいましたが、会長は長男の質問に丁寧に答えてくださいました。そして、そのことがきっかけとなり、「紙芝居を使って子供たちにお金のことを教えている人がいるから今度、番組に呼ぼう」という話なり、その時に番組に呼ばれたのが、岡本和久先生でした。私は岡本先生が紙芝居の中で語られているお話に激しい衝撃を受けました。

私が自分なりに「お金とは?」、「投資とは?」、「豊かさとは?」と漠然と考えていたことが、その紙芝居の中で見事に語られていたのです。そして、それは子供に伝えるためのものなのです。「これだ!!」と思いました。自分が考えていたことは間違いではなかったと確信に変わった瞬間でした。





長期投資仲間通信「インベストライフ」

岡本先生が紙芝居の中で語られる「お金は感謝のしるし」、「お金持ちは感謝持ち」、「お金はご縁のネットワーク」、「6つの富の(お金以外の5つ)お話し」、「ハッピーマネー四分法」など、どれも豊かに幸せに生きていくために大切なお話で、それが子供にも理解できるように紙芝居になっているのです。私はその紙芝居が欲しくて、欲しくてたまらず、すぐに岡本先生に連絡をとり、紙芝居を譲っていただきました。その紙芝居が自宅に届いた時は「嬉しくて、嬉しくて」たまりませんでした。大切に、大切に仕方なく、痛まないようにすぐに、押入れにしまいました。今でも、子供が触らないように押入れにしまっており(笑)。我が家の「家宝」です。その岡本先生から嬉しいことに勉強会のお誘いまでいただき、毎年、秋田で勉強会をやるようにもなりました。



私は、極限の貧乏だった時、自分が貧乏なのは「給料が少ないからだ」とか「政治が悪いからだ」、「家が貧乏だからだ」と自分以外の誰かのせいだと思っていました。でも原因は全て自分にありました。「お金のことを知らな過ぎた」のです。誰も教えてくれなかったのです。そして大切なことは、お金が沢山あることが豊かなのではなく、お金に対する付き合い方が自分を豊かにも貧しくもするのだと分りました。



お金に対する不安や恐怖が日々なくなり、将来がワクワクしたものにどんどん変わっていきました。この時、子供はまだ二人だったのですが、ずっと三人欲しいと思っていた我が家は、お金の不安がなくなったため、三人目をもうけることにしました。

どん底の2010年からわずか2年後の2012年の事でした。まだ借金は3,000万円以上で、築いた金融資産は200万円程でしたが、お金の不安や恐怖、欠乏した感覚はほとんど消え去り、未来へのワクワクで一杯でした。豊かさとはたくさんのお金の事ではなく、お金との付き合い方であり、そのための知識の事だと思います。





長期投資仲間通信「インベストライフ」

私の好きな「豊かさの定義」があります。それは「豊かさとは全てを失った時に残ったもの」というものです。どんなにお金を蓄えても使ってしまえば無くなります。お金はただの紙です。印刷物です。その印刷物をいくら積み上げたところで豊かさを感じることはありません。印刷物だからです。積み上げた分だけ、失う恐怖も大きくなります。お金をいくら蓄えても不安が消えない理由はそこあります。「全てを失った時に残るもの」、それは、お金の知識です。このお金の知識は脳の中に蓄積されるものなので、どこへでも持ち運びが出来ます。誰かに盗まれることもありません。自分が生きている限り失うこともありません。子供に伝えることも出来ます。相続税もかかりません。そして、いつ無一文になっても、いつでもどこでも何度でも、その場で富を創造することが出来ます。自分以外の誰かを豊かにすることも可能です。そして無害です。「ノーリスク・スーパーリターン」です。お金は脳が生み出しています。それは脳に蓄積されたお金の知識がお金を生み出します。読書量は年収と比例するそうですが、本当だと思います。

豊かさとは自分の外側にあって追いかけるものではなく、既に自分の中にあって見つけて貰うのをずっと待っているのだと思います。「貧乏は心の病気」という話を聞いたことがあります。こんなことを書くと怒られそうですが、これも本当だと思います。自分が極限の貧乏をした原因は全て自分にありました。お金のことを知らな過ぎたのです。この気付きが私の「再起」となりました。「谷底」から這い上がり始めた私が感じたワクワク。このワクワクがこの後、スリルに近い強烈なワクワクになって行くことを当時の私はまだ、想像することは出来ませんでした。

次回、「自立」へ続く…。



知って得する、ちょっと差がつく トリビア・コーナー

トリビア研究家 末崎 孝幸氏

末崎 孝幸氏

1945 年生まれ。1968 年一橋大学商学部卒業、同年日興証券入社。調査部門、資産運用部門などを経て、日興アセットマネジメント執行役員(調査本部長)を務める。2004 年に退職。Facebook 上での氏のトリビア投稿は好評を博している。



左利きをなぜ『サウスポー』というのか

かつての米国での野球場は、午後の日差しがバッターの妨げにならないよう、本塁が北西側になるよう設計されることが多かった。このため左投手は南側(south)の手(paw)で投球することになり、そこから左投手がサウスポーと呼ばれるようになったという。サウスポーという言葉が最初に使ったのは 1890 年代、シカゴのスポーツ記者だといわれている。(また、アメリカ南部出身のピッチャーに左腕投手が多かったためサウスポーと呼ばれ始めたという説もある。)

その後、サウスポーは野球だけでなく、ボクシングでも使われ始め、テニス、卓球など他のスポーツにも定着していったのである。

バッテラ(の語源)

大阪寿司の代表、サバの押し寿司を「バッテラ」というが、これには次のようなエピソードがある。明治 20 年代、コノシロという魚をしめて小舟の形の箱にして売り出した寿司屋があった。小舟のことをポルトガル語で「bateira バッテイラ」ということから、この寿司のことを「バッテラ」と呼ぶようになった。

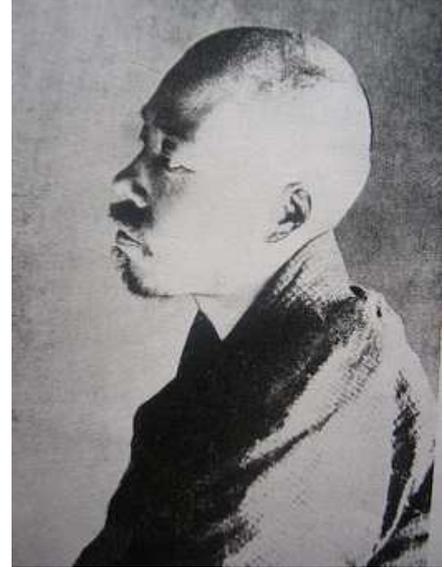
その後、コノシロがサバに代わり、形も小舟ではなく細長い角型になったのだが、「バッテラ」の名前は残ったのである。



へちま&糸瓜忌

へちまの本来の名前は、果実から繊維が得られることからついた糸瓜(いとうり)である。これが後に「い」が抜け「とうり」と訛った。頭文字となった『と』の字は「いろは歌(いろはにほへと・・・)」で「へ」と「ち」の間にあることから「へち間」の意で「へちま」と呼ばれるようになったのである。今でも「糸瓜」と書いて「へちま」と読む。

なお、9月19日は正岡子規の命日(享年34)で「糸瓜忌(へちまき)」である。辞世は三句あり、いずれもへちまを詠んでいる。その中の最も有名な一句が『糸瓜咲て 痰のつまりし 仏かな』。(へちまは8、9月に花を咲かせる)



衣食足りて礼節を知る

今から2千数百年前の中国は春秋時代といわれ、多くの国が覇権を争った時代だった。その中で最初の覇者となったのが、斉の桓公(かんこう)である。その桓公を覇者に導いたのが名宰相・管仲だ。

管仲は徹底した富国強兵策を行って国力を充実させたが、彼の著書とされる「管子」の中に有名な「衣食足りて礼節を知る」という言葉がある。この場合の礼節とは祭祀における儀礼のことだが、今では人は衣食などの生活に余裕ができて、初めて礼儀や節度をわきまえられるようになるという意で使われている。

近年著しい経済発展を遂げてきた中国は、近隣諸国との関係において礼儀や節度をわきまえているとはとても思えない。管仲や孔子が存在した時代とはまったく異質な国になってしまったようだ。

酒は百薬の長

前漢を篡奪した王莽は、皇帝となった後、財源を確保するために塩、酒、鉄を専売にした。その時の詔書に「塩は食肴の将、酒は百薬の長、鉄は田農の本」と記した。ここから酒飲みが、酒を飲むときに「酒は百薬の長」と唱えるようになったのであり、「百薬の長」は根拠のない言葉である。

その後、王莽は後漢の光武帝に滅ぼされて1代限りの皇帝となってしまったが、どこか胡散臭いところのある人物だ。平家物語の有名な冒頭にも悪役として記述されている。

いずれにせよ、飲酒はほどほどにしましょう。



直木賞(直木三十五)

小説を書いている人にとって芥川賞、直木賞は大きな目標だろう。この賞は(株)文藝春秋を創設した菊池寛が昭和10年、友人だった芥川龍之介、直木三十五を偲んで創設した賞だ(芥川は昭和2年、直木は昭和9年に没している)。ただ、芥川作品がいまだに多くの人に読まれているのに対して、直木作品はほとんど読まれることはなく、直木三十五は忘れ去られた作家ともいえる。

直木賞に名を残した直木三十五は、デビューしたときのペンネームは「直木三十一」だった。年齢が31だったからだ。本名は植村宗一。その植村の「植」の字を分解して「直木」という姓を、下の名前は年齢で名乗ることにしたのだ。年齢が上がると名前も変えた。32歳では「直木三十二」、33歳では「直樹三十三」。ただ、34歳のときは編集者との行き違いがあり「三十三」を2年間名乗った。そして35歳のときに「三十五」とした。ここで打ち留めとし、以降43歳で没するまで「三十五」のペンネームを使い続けたのである。代表作は、薩摩藩のお由羅騒動を描いた「南国太平記」。





中国がわかるシリーズ 42 クビライの即位

ライフネット生命保険株式会社
創業者 出口治明氏

クビライは、熟柿が落ちるように腰を据えて南宋攻略を考えていましたが、果敢な性格のモンケはそれに飽き足らず、クビライを外して自ら親征を決意しました。しかし、四川に進出したモンケは、1259年、そこで病没しました。ユーラシアの暦の統一を考えユークリッド幾何学を好んだポリグロトのモンケは、おそらく同時代のフリードリヒ 2 世と並ぶ近代人であり、フリードリヒ 2 世に勝るとも劣らない有能かつスケールの大きい皇帝でした。モンケの構想は、のちに、マラーガの天文台や授時暦に結実します。

モンケが急死した時点で、バトゥは既に他界しており、キングメーカーは不在でした。モンゴルの伝統的な考えでは、モンゴル本土の留守を預かる、末弟、アリク・ブケが最有力候補でした。しかし、モンケ以上の資質に恵まれたクビライは、クーデタを決意したのです。

1260年、クビライは、オッチギンなど東方 3 王家の支援を得て、本拠、開平で自派を集めたクリルタイを開き、5 代カアンに就きました。両面作戦を嫌ったクビライは、郝経を南宋に送りました(南宋に 16 年幽閉された郝経は、雁の足に結わえた帛書に託して自分の生存をクビライに知らせようとなりました。これが雁書のお話となります)。

翌月、カラコルムにいた末弟、アリク・ブケも、モンケの遺族や、ジョチ家、チャガタイ家の支持を得てカラコルムのクリルタイで即位しました。モンゴルの伝統に従えば、アリク・ブケが正統なカアンで、クビライは反乱軍でした。しかし、軍事力、経済力に勝るクビライの優位は覆らず、1264年、アリク・ブケが降伏して、決着が着いたのです。

クビライは、(モンケのように)モンゴル帝国の箍を締め直そうと、1266年に統一クリルタイを企画しました。クビライの実弟フレグやアルグ(チャガタイの孫)は勿論、アリク・ブケを支持したベルケ(バトゥの弟)も同意しました。しかし、これら西方の 3 巨頭が相次いで病没し、3 ウルスでは、後継者の選出で混戦が生じて、クリルタイどころではなくなりました。クビライの直轄領域は、事実上東方に限られ、モンゴル帝国は、クビライを宗主として、ジョチ、フレグ、チャガタイの 3 ウルスが緩やかに結びつく連合体となりました。しかし、これが、むしろ、モンゴルの伝統的な在り方だったのです。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

駅伝制などは、そのまま維持され、ユーラシアの風通しの良さは、ウゲデイやモンケの時代と何等変わるところがありませんでした。1260年、クビライは、世界で初めての兌換紙幣、中統元宝交鈔を発行しました。紙幣は北宋の時代から発行されていましたが(四川の交子や、金の交鈔、南宋の会子)有効期限があり、補助貨幣としての扱いでした。クビライは、紙幣を正貨としたのです。

<モデルポートフォリオ:2017年8月末の運用状況>

単位：%

		トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の投資額に対する騰落率			
		1か月	1年	5年 (年率)	10年 (年率)	10年 (年率)	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月 ~ 212万円
4資産型	積極型	0.04	19.99	16.97	3.69	17.15	8.45	30.43	68.98	84.95
	成長型	0.28	13.43	12.74	3.54	12.20	6.11	21.40	49.36	67.32
	安定型	0.52	7.17	8.51	3.15	7.71	3.86	12.86	31.37	49.17
2資産型	積極型	0.18	21.11	16.53	4.19	19.19	9.57	29.81	72.35	98.76
	成長型	0.41	15.04	13.00	3.88	14.29	7.34	21.46	52.73	78.40
	安定型	0.63	9.23	9.47	3.31	9.97	5.17	13.52	34.77	57.58

* 投資にかかるコストは控除していない。積み立ては、税引き前分配金再投資。ポートフォリオは毎月リバランスをしたものとする。積み立ては計算月数分を運用したものとする。例えば1年の場合は2016年8月末に1万円投資資金を積み立て始め、2017年7月末の投資資金までとする(2017年8月末積み立て分は運用期間がないため含めていない)。

出所: イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがMorningstar Directにより作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせは「投信まとなび」のお問い合わせメール(<https://www.matonavi.jp/inquiry>)にてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンまで。

ポートフォリオの資産配分比率(外貨建て資産は円換算ベース)

4資産型		国内株式: TOPIX	外国株式: MSCI KOKUSAI	国内債券: NOMURA- BPI (総合)	外国債券: Citi WGBI (除く日本)	
		積極型	40%	40%	10%	10%
成長型	25%	25%	25%	25%		
安定型	10%	10%	40%	40%		
2資産型		世界株式: MSCI ACWI (含む日本)		世界債券: Citi WGBI (含む日本)		
		積極型	80%	20%		
		成長型	50%	50%		
		安定型	20%	80%		

ポートフォリオは「インベストライフ」が参考のために考案した資産配分に基づき、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出しています。特定の資産配分による投資の推奨を行うものではありません。

「長期投資仲間」通信『インベストライフ』のその他の記事はこちらからご覧ください。
<http://www.investlife.jp/>

4資産

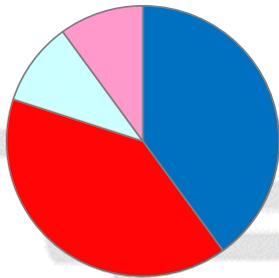
■国内株式:
TOPIX

■外国株式:
MSCI KOKUSAI

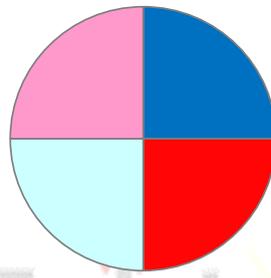
■国内債券:
NOMURA-BPI
(総合)

■外国債券:
Citi WGBI
(除く日本)

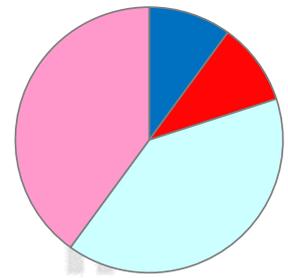
積極型



成長型



安定型

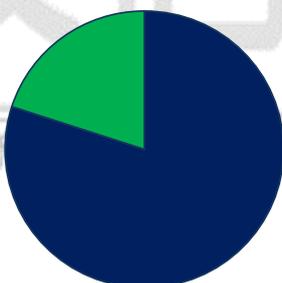


2資産型

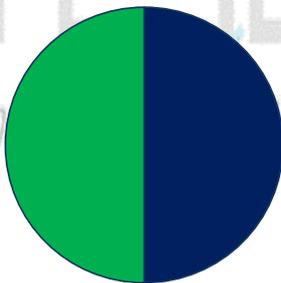
■世界株式:
MSCI ACWI
(含む日本)

■世界債券:
Citi WGBI
(含む日本)

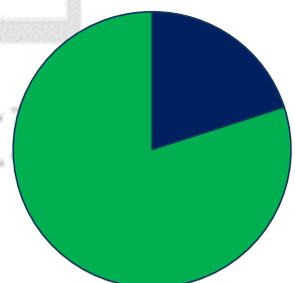
積極型



成長型



安定型



当資料は「インベストライフ」のために、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンがデータを算出、作成しています。特定の投資信託による投資の推奨を行うものではありません。
※ファンド名をクリックすると「投信まとなび」でそのファンドを見ることができます。

「長期投資仲間」通信『インベストライフ』の
その他の記事はこちらからご覧ください。
<http://www.investlife.jp/>

<直販ファンド:2017年8月末の運用状況>

運用会社名	ファンド名	トータルリターン				リスク	1万円ずつ積み立てた場合の 投資額に対する騰落率				1万円ずつ積み立てた場合の 月末資産額				2017年8月末		2017年 5月末	2017年 8月中
		1ヵ月	1年	5年 (年率)	10年 (年率)		10年 (年率)	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月~ 212万円	1年 12万円	5年 60万円	10年 120万円	2000年1月~ 212万円	純資産 (億円)	基準価額 (円)	(前回掲載時) 基準価額 (円)
さわかみ投信	さわかみファンド	-0.16	21.32	19.49	2.40	20.59	8.73	34.20	64.26	108.87	13.05	80.52	197.11	380.14	3,013.1	23,612	22,813	-11.79
セゾン投信	セゾン・バンガード・ グローバルバランスファンド	0.17	14.37	12.46	3.14	14.03	6.51	19.17	46.85	-	12.78	71.50	176.22	-	1,431.7	13,885	13,590	15.34
レオス・キャピタルワ	ひふみ投信	2.36	39.55	27.32	-	-	18.53	72.82	-	-	14.22	103.69	-	-	802.2	44,011	41,664	49.18
セゾン投信	セゾン 資産形成の達人ファンド	-1.10	25.60	20.82	6.98	20.42	11.08	41.45	107.35	-	13.33	84.87	248.82	-	467.4	18,818	18,672	9.35
鎌倉投信	結い 2101	0.84	15.67	11.73	-	-	7.87	22.96	-	-	12.94	73.78	-	-	294.6	17,874	17,286	3.97
ありがとう投信	ありがとうファンド	0.12	21.61	17.00	3.48	17.72	10.70	32.60	68.82	-	13.28	79.56	202.59	-	123.9	17,859	17,417	0.18
コモンズ投信	コモンズ30ファンド	-0.09	23.31	18.64	-	-	10.30	38.89	-	-	13.24	83.33	-	-	101.3	26,531	25,652	2.39
クローバー・アセット	コドモ ファンド	1.21	30.06	-	-	-	14.52	-	-	-	13.74	-	-	-	57.1	16,454	15,605	0.28
ユニオン投信	ユニオンファンド	-0.46	23.06	14.65	-	-	10.09	28.15	-	-	13.21	76.89	-	-	55.5	24,229	23,642	0.73
コモンズ投信	ザ・2020ビジョン	-0.22	15.81	-	-	-	6.44	-	-	-	12.77	-	-	-	43.2	13,680	13,275	0.02
クローバー・アセット	浪花おふくろファンド	0.60	24.28	18.29	-	-	11.15	39.91	-	-	13.34	83.95	-	-	11.5	19,279	18,707	0.04
クローバー・アセット	らくちんファンド	0.23	19.99	15.73	-	-	9.37	31.60	-	-	13.12	78.96	-	-	8.6	15,973	15,639	-0.05
クローバー・アセット	かいたくファンド	0.08	18.59	15.93	-	-	9.19	33.63	-	-	13.10	80.18	-	-	6.7	18,644	18,349	-0.03

*積み立ては税引き前分配金再投資、計算月数分を運用したものとします。例えば1年の場合は2016年8月末に1万円で積み立てを開始し、2017年7月末投資分までの8月末における運用成果とする(8月の積み立て額は入れない)。
出所: MorningstarDirectのデータを用いてイボットソン・アソシエイツ・ジャパンが作成。MorningstarDirectについてのお問い合わせは「投信まとなび」のお問い合わせメール(<https://www.matonavi.jp/inquiry>)にてお気軽にご送信ください。